

伊勢原市次世代育成支援対策行動計画「いせはらっ子応援プラン」

H22事業評価・H23事業内容

平成23年11月
伊勢原市次世代育成支援対策地域協議会

【事業評価】

26年度までの計画目標中、平成22年度に達成すべき内容に対する進捗状況について担当課において次の3ランクで評価した。

- A（計画どおり進捗した）
- B（やや遅れている）
- C（ほとんど進捗していない）

子育て支援事業の概要

子育ての悩み解消のための支援	94	(再) 障害児保育事業	保育課	42	
	95	病後児保育事業	保育課	42	
	96	駅前保育事業の検討	保育課	43	
	97	(再) 放課後児童健全育成事業(児童コミュニティークラブ事業)	子育て支援課	43	
	98	児童コミュニティークラブでの障害児受入	子育て支援課	43	
	99	休日保育の実施検討	保育課	44	
	100	(再) 家庭的保育等事業	保育課	44	
	101	私設保育施設(認可外保育施設)による保育等	保育課	44	
	102	私設保育施設(認可外保育施設)による保育等(院内保育)	健康管理課	45	
	103	私設保育施設(認可外保育施設)による保育等(幼稚園の預かり保育)	学校教育課	45	
	104	(再) ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	45	
	105	男女共同参画推進事業の促進	人権・男女共同参画推進室	46	
	106	関係機関との連携・市内事業者等に対する普及啓発活動の実施	子育て支援課 商工観光振興課	47	
	107	再就職への支援策の検討	商工観光振興課	48	
	子育ての悩み解消のための支援	108	(再) 子育て支援センター事業	子育て支援課	49
		109	(再) 地域育児センター事業	保育課	49
		110	子育てサロン	社会福祉協議会	50
		111	(再) 療育相談	子育て支援課	50
		112	新ママセミナー	社会教育課	50
113		家庭育児相談	子育て支援課	51	
114		母子父子福祉相談	子育て支援課	51	
115		子育て相談窓口の一元化の推進	子育て支援課	51	
116		子育て支援総合コーディネート事業	子育て支援課	52	
117		(再) 健康カレンダーの配布	健康管理課	52	
118		児童虐待防止等事業	子育て支援課	53	
119		子ども虐待防止電話相談	子育て支援課	53	
経済的負担の軽減		120	子ども手当支給	子育て支援課	54
	121	多子世帯保育料の軽減	保育課	54	
	122	要保護及び準要保護児童生徒援助	学校教育課	55	
	123	小児医療費助成事業	子育て支援課	55	
	124	出産一時金の支給	保険年金課	55	
	125	(再) 幼稚園就園児補助	学校教育課	56	
	126	ひとり親家庭等医療費助成事業	子育て支援課	56	
	127	ひとり親家庭等入学支度金支給	子育て支援課	56	
	128	ひとり親家庭援護事業	社会福祉協議会	57	
	129	児童扶養手当支給	子育て支援課	57	
	130	母子寡婦福祉資金の貸付制度	子育て支援課	57	
	131	母子家庭自立支援教育訓練給付金事業	子育て支援課	58	
	132	緊急母子貸付金	子育て支援課	58	
	133	特別児童扶養手当支給	障害福祉課	58	
	134	障害児福祉手当支給	障害福祉課	59	
	135	特別支援学校在学者福祉手当支給	障害福祉課	59	
	136	市営・県営住宅等の情報提供	建築指導課	59	
親子の健康づくりを進めます	安心して出産し子育てができる環境づくり	137	母子父子健康手帳の交付	子育て支援課	60
		138	妊婦健康診査	子育て支援課	60
		139	母親・父親学級/両親教室母親・父親学級フォローアップ教室	子育て支援課	61
		140	訪問指導(妊産婦・新生児・未熟児・乳幼児)	子育て支援課	61
		141	(再) 養育支援訪問事業	子育て支援課	61
		142	多胎児教室	子育て支援課	62
		143	母親・父親学級同窓会の開催検討	子育て支援課	62
		144	不妊治療の支援	子育て支援課	62
	親子の健康の確保	145	マタニティクッキング	子育て支援課	63
		146	離乳食教室	健康管理課	63
		147	(再) 思春期栄養改善事業	学校教育課	64
		148	(再) 思春期食育事業	健康管理課	64
		149	健康診査時集団指導	子育て支援課	65
		150	庁内栄養士連絡調整会議	健康管理課	65
151		食育推進のための体制づくり(食育推進計画の策定)	健康管理課	65	
152		各種健康診査	子育て支援課	66	
153		乳幼児精密検査	子育て支援課	66	
154		健康診査未受診者への指導(家庭訪問)	子育て支援課	66	
155	育児教室	子育て支援課	67		
156	乳幼児健康教育	子育て支援課	67		
157	(再) 訪問指導(妊産婦・新生児・乳幼児)	子育て支援課	67		
158	アレルギー教室	子育て支援課	68		
159	アレルギー相談会	子育て支援課	68		
160	アレルギー職員研修会	子育て支援課	68		
161	育児・栄養電話相談	子育て支援課	69		
162	乳幼児健康電話相談	子育て支援課	69		
163	乳幼児健康相談(すくすく健康相談)	子育て支援課	69		
164	(再) 療育相談	子育て支援課	70		
165	各種予防接種	健康管理課	70		
166	SIDS予防対策	子育て支援課	70		
167	健康カレンダーの配布	健康管理課	71		
168	乳児訪問の充実(こんにちは赤ちゃん訪問)	子育て支援課	71		
小児医療の充実	169	二次救急小児科医療体制の整備	健康管理課	72	
	170	(再) 小児医療費助成事業	子育て支援課	72	
	171	(再) ひとり親家庭等医療費助成事業	子育て支援課	72	
子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりを推進します	親子が安心して集える場の確保	172	市民参加の公園づくり	公園緑地課	73
		173	運動公園整備事業	公園緑地課	73
		174	防災公園整備事業	公園緑地課	74
		175	青少年広場及び児童遊園の維持管理	青少年課	74
		176	児童遊園、遊具の修繕助成	社会福祉協議会	74
	子どもの安全の確保	177	交通バリアフリー法に基づく特定事業等の推進	都市総務課	75
178		交通バリアフリー法に基づく特定事業等の推進	道路整備課	75	
179		関係機関との連携・防犯パトロールの推進	交通防犯対策課	76	
180		「あなたを守る家」運動への協力	社会教育課	76	
181		防犯指導の実施	交通防犯対策課	76	
182		交通安全教育の推進	交通防犯対策課	77	
183		通学路の安全対策	学校教育課	77	
184		通学路の安全対策	道路整備課	78	
185		通学路の安全対策	交通防犯対策課	78	
186		防犯灯の整備	交通防犯対策課	78	

基本目標 1 夢や喜びを抱いて子育てができる地域をつくります

施策の目標

- 子育てをされていて、子どもを持つ喜びが実感できた保護者の割合を増やします
- 地域に支えられて子育てができると感じる保護者の割合を増やします

1-①家庭における子育て力の増進

<施策の対応方針>

- 保健分野・福祉分野・教育分野が連携を図り、総合的に家庭における子育て力の増進の支援をしていきます。
- 中高生に対し、乳幼児とふれあう機会や子育てを体験する機会を拡充し、「育児」や「子育て」に関する理解を深めていきます。

1	幼児家庭教育学級	担当課	社会教育課				
事業内容	2・3歳児とその親を対象に、親は子に対する在り方、接し方等家庭教育上の問題や子の成長に欠かせない知識を習得し、子は同年代の子とともに集団生活を学ぶ場とします。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内6公民館で6講座実施。 ・各講座1～2教室の増 						
H22取組結果	市内6公民館で幼児家庭教育学級を実施した。 ・中央公民館 年6回 延べ124人参加 ・高部屋公民館(大山公民館共催) 年2回 延べ110人参加 ・比々多公民館 年5回 延べ98人参加 ・成瀬公民館 年5回 延べ73人参加 ・大田公民館 年3回 延べ33人参加 ・伊勢原南公民館 年4回 延べ70人参加	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	2・3歳児とその親を対象に、親は子に対する在り方、接し方等家庭教育上の問題や子の成長に欠かせない知識を習得し、子は同年代の子とともに集団生活を学ぶ場とします。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	232	0	0	0	232
		H23予算	472	0	0	0	472

2	家庭教育講演会	担当課	社会教育課				
事業内容	家庭教育の一助として、家庭と地域社会のかかわりや、子どもを心身ともに健やかに育てるために何をすべきか等、各テーマを設定して、家庭教育について考える機会を提供します。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・4中学校区で年1回開催 ・地域との関わりを促進するため青少年健全育成協議会との連携を推進 						
H22取組結果	4中学校区で年1回開催した。 ・中沢中学校区 110人参加 ・伊勢原中学校区 90人参加 ・成瀬中学校区 148人参加 ・山王中学校区 130人参加	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	家庭教育の一助として、家庭と地域社会のかかわりや、子どもを心身ともに健やかに育てるために何をすべきか等、各テーマを設定して、家庭教育について考える機会を提供します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	134	0	0	0	134
		H23予算	143	0	0	0	143

3	夏期保育体験	担当課	社会福祉協議会					
事業内容	中高生を対象に「保育」の体験を通して児童福祉への理解と社会連帯の精神を高めます。							
計画目標	市内保育所11園の協力により7月、8月に実施 計180名							
H22取組結果	市内保育所11園の協力により7月、8月に実施しました。計155名参加(市内7校、市外3校)	事業評価	B・Cの理由					
H23事業内容	継続実施 財源は社会福祉協議会自主財源(会費)を活用	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	4	0	0		4	0
		H23予算	5	0	0		5	0

4	中高生と乳幼児等との交流事業	担当課	保育課					
事業内容	乳幼児と中学生、高校生等これから親になっていく世代との交流を行い、異年齢の人との交流を通じて、家庭や命の大切さにふれ、子どもを産み育てることへの理解を促します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 							
H22取組結果	(取組状況) 公立保育所(4園) ・世代間交流事業 述べ 120回 ・育児相談 述べ 229件 ・園庭開放 述べ 452人 民間保育所(7園) ・世代間交流事業 延べ 76回 ・育児相談 述べ 891件 ・園庭開放 述べ 1,157人	事業評価	B・Cの理由					
H23事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23予算	0	0	0		0	0

1-②地域ぐるみの子育て支援の推進

<施策の対応方針>

- 子育てをサポートする人づくり・場づくりを進めて、保護者の精神的・身体的負担の軽減を図ります。
- 子育てを地域全体で支援する機運の醸成に努めていきます。
- 地域土子育て支援に関する自主的な活動を行うサークルやボランティア団体等、自主活動団体の育成と活動を支援していきます。
- 地域社会全体で子育てをサポートしていく体制づくりを推進してきます。

5	高齢者を活用した子育て支援（世代間交流事業）	担当課	保育課				
事業内容	子どもたちと高齢者を始めとした地域住民との世代を超えた交流を推進し、地域全体による子育て支援意識の醸成を図ります。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 						
H22 取組結果	（取組状況） 公立保育所（4園） ・世代間交流事業 述べ 120回 ・育児相談 述べ 229件 ・園庭開放 述べ 452人 民間保育所（7園） ・世代間交流事業 延べ 76回 ・育児相談 述べ 891件 ・園庭開放 述べ 1,157人	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23予算	0	0	0	0	0

6	ファミリー・サポート・センター事業	担当課	子育て支援課				
事業内容	児童の健やかな成長や子育ての中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と支援を行いたい人（支援会員）からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・設置箇所数 1箇所 ・会員総数 1,180人 						
H22 取組結果	（執行実績） ・設置箇所数：1箇所 ・会員総数：804人 内訳 ・依頼会員：569人 ・支援会員：197人 ・両方会員：38人 ・延べ活動回数：2,196回	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業内容	児童の健やかな成長や子育ての中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と支援を行いたい人（支援会員）からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	4,656	2,375	0	0	2,281
		H23予算	4,825	2,412	0	0	2,413

7	子育て支援センター事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	地域で孤立しがちな母親の子育ての不安やストレス、悩みの解消を図るため、子育て支援センターに子育てアドバイザーを配置し、親子の遊びや息抜き、情報交換、仲間づくりの場を提供します。 また、乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感をもち、問題解決の糸口となる場として、「つどいの広場」を展開します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・支援センター 1箇所 ・「子育てひろば」 6箇所 ・「つどいの広場」 4箇所 							
H22 取組結果	(執行実績) ・フリースペース 開催日数：243日 参加者数：延べ14,110人 ・育児相談件数 延べ：1,917件 ・つどいの広場 実施箇所数：1カ所 開催日数：130日 参加者数：延べ5,347人 ・子育てひろば 開催日数：190日 参加者数：延べ5,242人 うち「赤ちゃんひろば」 1箇所（フリースペース内） 「赤ちゃんとこれからママのつどい」 1箇所（つどいの広場内）	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業内容	地域で孤立しがちな母親の子育ての不安やストレス、悩みの解消を図るため、子育て支援センターに子育てアドバイザーを配置し、親子の遊びや息抜き、情報交換、仲間づくりの場を提供します。 また、乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感をもち、問題解決の糸口となる場として、「つどいの広場」を展開します。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	8,289	4,276	0	0	4,013	
		H23予算	8,956	4,478	0	0	4,478	

8	地域育児センター事業	担当課	保育課					
事業内容	保育所の専門的機能を活用し、地域における子育てのニーズにきめ細やかに対応するため、各認可保育所において様々な子育て支援を実施します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 							
H22 取組結果	(取組状況) 公立保育所（4園） ・世代間交流事業 述べ 120回 ・育児相談 述べ 229件 ・園庭開放 述べ 452人 民間保育所（7園） ・世代間交流事業 延べ 76回 ・育児相談 述べ 891件 ・園庭開放 述べ 1,157人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23予算	0	0	0	0	0	

9	子育てグループの活動支援	担当課	子育て支援課					
事業内容	①子育て支援に関するサークルやボランティア団体等に対し、活動の場や情報の提供、依頼に基づく健康教育等を実施して、自主活動を支援します。②子育て中の保護者グループが、自主的・継続的に行う乳幼児の保育活動や情報交換、親子交流等のうち、一定の要件を満たすものについて、活動費の一部を助成し、その活動を支援します（コミュニティ保育推進事業）。							
計画目標	活動支援の充実							
H22 取組 結果	(執行実績) ・伊勢原市コミュニティ保育推進事業補助金交付要綱に基づき、交付要望のあった1団体に補助金（157千円）を交付する。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	継続実施 ・要望団体数：1グループ (コミュニティ保育どんぐり会)	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	157	0	0	0		157
		H23予算	157	0	0	0		157

10	つどいの広場事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感をもち、問題解決の糸口となる場を提供します。							
計画目標	4箇所 (各中学校区に1箇所)							
H22 取組 結果	(執行実績) ・つどいの広場 実施箇所数：1カ所 開催日数：130日 参加者数：延べ5,347人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	継続実施 ・週3日の開設日のうち、月1回分の運営を子育てサポーターへの委託により実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	2,437	1,218	0	0		1,219
		H23予算	2,821	1,410	0	0		1,411

11	子育てサポーター養成事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	乳幼児をもつ子育て中の親が地域で身近に頼れ、子育てをサポートする「子育てサポーター（ボランティア）」を養成し、地域の主任児童委員等と連携し、地域ぐるみの子育て支援体制を構築します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 登録人員 100人 活動の充実 							
H22 取組 結果	(執行実績) ・登録人員：29人(延べ116人) ・養成講座 講義 平成22年9月29日～11月15日 (延べ4日間、8科目) 実習10月12日～10月15日 (延べ4日間のうち半日、公立保育所にて) ・活動状況 子育て支援センター（フリースペース） 「つどいの広場」 子育てひろば（巡回） 4ヶ月健診 「こんにちは赤ちゃん訪問」 離乳食教室 ・スキルアップ研修 平成22年9月16日～11月15日 (延べ5日間、5講座)	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> 登録人員：14人（延べ150人） 養成講座 平成23年9月22日～11月9日 (延べ4日間、8科目) 実習 10月5日～12月22日 (公立保育園、子育て広場、離乳食教室) 活動状況（上に同じ） スキルアップ研修 平成23年9月22日～11月9日 (延べ4日間、5講座) 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	143	0	0	0	143	
		H23予算	219	0	0	0	219	

12	地域における子育てネットワークの形成	担当課	子育て支援課					
事業内容	地域における総合的な子育て支援に取り組むため、子育て支援センター及びつどいの広場を拠点にネットワーク化を図ります。							
計画目標	支援センターとつどいの広場のネットワーク化 2箇所							
H22 取組 結果	未実施	事業評価	B・Cの理由					
		C	子育て支援総合コーディネーター事業による専任コーディネーターの配置に併せ、インターネットを活用したネットワーク化を図っていくため。					
H23 事業 内容	地域における総合的な子育て支援に取り組むため、子育て支援センター及びつどいの広場を拠点にネットワーク化を図ります。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23予算	0	0	0	0	0	

13	(再) 幼児家庭教育学級	担当課	社会教育課				
事業内容	2・3歳児とその親を対象に、親は子に対する在り方、接し方等家庭教育上の問題や子の成長に欠かせない知識を習得し、子は同年代の子とともに集団生活を学ぶ場とします。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 市内6公民館で6講座実施。 各講座1～2教室の増 						
H22取組結果	市内6公民館で幼児家庭教育学級を実施した。 ・中央公民館 年6回 延べ124人参加 ・高部屋公民館(大山公民館共催) 年2回 延べ110人参加 ・比々多公民館 年5回 延べ98人参加 ・成瀬公民館 年5回 延べ73人参加 ・大田公民館 年3回 延べ33人参加 ・伊勢原南公民館 年4回 延べ70人参加	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	2・3歳児とその親を対象に、親は子に対する在り方、接し方等家庭教育上の問題や子の成長に欠かせない知識を習得し、子は同年代の子とともに集団生活を学ぶ場とします。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他 一般財源	
		H22決算	232	0	0	0 232	
		H23予算	472	0	0	0 472	

14	(再) 家庭教育講演会	担当課	社会教育課				
事業内容	家庭教育の一助として、家庭と地域社会のかかわりや、子どもを心身ともに健やかに育てるために何をすべきか等、各テーマを設定して、家庭教育について考える機会を提供します。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 4中学校区で年1回開催 地域との関わりを促進するため青少年健全育成協議会との連携を推進 						
H22取組結果	4中学校区で年1回開催した。 ・中沢中学校区 110人参加 ・伊勢原中学校区 90人参加 ・成瀬中学校区 148人参加 ・山王中学校区 130人参加	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	家庭教育の一助として、家庭と地域社会のかかわりや、子どもを心身ともに健やかに育てるために何をすべきか等、各テーマを設定して、家庭教育について考える機会を提供します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他 一般財源	
		H22決算	134	0	0	0 134	
		H23予算	143	0	0	0 143	

基本目標 2 次代を担う子どもの成長を支援する環境を整備します

施策の目標

- 伊勢原が子どもの成長にふさわしい環境であると感じる保護者の割合を増やします
- 子どもの教育環境が良好であると感じる保護者の割合を増やします

2-①幼児期の教育・保育環境の整備

<施策の対応方針>

- 市立幼稚園や保育所の自主性を尊重し、支援に努めていきます。
- 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ総合施設の在り方など、子どもや保護者にとってより望ましい施設運営を支援します。
- 幼保連携施設である認定こども園の取り組みについて、継続的に検討していきます。
- 障害のある子どもの幼稚園の入園や、保育所の入所の支援をしていきます。

15	幼稚園就園児補助	担当課	学校教育課				
事業内容	保護者の経済的負担の軽減と幼児教育の振興を図るため、市内在住の子どもが市内・市外の私立幼稚園に就園する場合に、入園料等の一部を助成します。						
計画目標	継続実施						
H22 取組結果	私立幼稚園に就園させている保護者に対し、保育料等の一部を補助しました。 (対象) 1,708人	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業内容	私立幼稚園に就園させている保護者に対し、保育料等の一部を補助していきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	11,193	0	0	0	11,193
		H23予算	11,200	0	0	0	11,200

16	幼稚園就園奨励費補助	担当課	学校教育課				
事業内容	私立幼稚園に対し、幼児教育の充実・振興及び保護者の負担軽減を目的として、助成します。						
計画目標	継続実施						
H22 取組結果	私立幼稚園を通じて就園児の保護者に対し、保育料等の一部を補助しました。 (対象) 32園、1,259人	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業内容	私立幼稚園を通じて就園児の保護者に対し、保育料の一部を補助していきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	112,066	26,053	0	0	86,013
		H23予算	111,833	24,230	0	0	87,603

17	幼稚園教材費補助	担当課	学校教育課
事業内容	幼稚園教育の重要性に配慮し、私立幼稚園に対して教材費等の助成を行い、幼児教育の環境整備を図ります。		
計画目標	継続実施		
H22取組結果	私立幼稚園の設置者に対し、教材教具の購入等に要する経費の一部を助成しました。 (対象) 10園	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23事業内容	教材教具の購入等に要する経費の一部を助成し、幼児教育の充実と保護者の経済的負担軽減を図っていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	4,658	0 0 0 4,658
	H23予算	4,700	0 0 0 4,700

18	私立幼稚園施設整備費補助	担当課	学校教育課
事業内容	幼稚園教育を振興するため、学校法人私立幼稚園が市内において行う幼稚園施設整備に要する経費に対して助成します。		
計画目標	継続実施		
H22取組結果	(平成22年度は施設整備費補助の対象学校法人はありませんでした。)	事業評価	B・Cの理由
		—	
H23事業内容	私立幼稚園の施設整備に対する補助を行い、幼児教育の振興を図っていきます。 (対象) 改築工事1園、改修工事1園	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	0	0 0 0 0
	H23予算	4,738	0 0 0 4,738

19	幼稚園障害児教育費補助	担当課	学校教育課
事業内容	市内在住の障害児を保育している市内私立幼稚園に対して助成します。		
計画目標	継続実施		
H22取組結果	市内在住の心身に障害を持つ幼児を受け入れている市内私立幼稚園に対し、助成を行いました。 (対象) 8園、31人	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23事業内容	障害児を受け入れる私立幼稚園の設置者に助成を行い、特別支援教育の充実を図っていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	3,348	0 0 0 3,348
	H23予算	3,024	0 0 0 3,024

20	保育所の整備	担当課	保育課					
事業内容	待機児童を解消するため、既存施設の改築・整備を行います。							
計画目標	施設整備を行う民間保育所への助成 1園							
H22取組結果	(取組状況) ・神奈川県の子ども基金を利用した私立認可保育所(大原保育園)の施設整備を支援。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	平成22年度の工事の遅延により繰越明許	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費					
		事業費内訳						
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要施策		
		H22決算	200,022	0	0	20,000	0	○
		H23予算	0	0	177,798	0	2,224	

21	民間保育所運営費補助振興助成	担当課	保育課					
事業内容	民間保育所の運営費等を助成し、民間保育所の振興と経営基盤の強化を図ります。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	(取組状況) ・民間保育所運営費補助の実施 管内民間保育所 7園 管外民間保育所 17園	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費					
		事業費内訳						
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要施策		
		H22決算	148,608	0	41,754	0	106,854	○
		H23予算	146,304	0	47,949	0	98,355	

22	障害児保育事業	担当課	保育課					
事業内容	保育士の適正な配置や研修など、保育所における障害児の受入れ体制の充実に努め、障害児保育の一層の促進を図ります。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	・民間4園・5人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	対象8人	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費					
		事業費内訳						
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要施策		
		H22決算	1,236	0	0	0	1,236	○
		H23予算	5,621	0	0	0	5,621	

23	民間保育所建設費借入償還金助成、民間保育所施設整備・設備整備補助	担当課	保育課					
事業内容	民間保育所が施設整備及び設備整備のために福祉医療機構等から借入した場合の償還元金について、県事業のほか市単独で助成を行います。社会福祉法人等の民間事業者が、市・県との調整後に認可保育所の施設を整備する場合に、施設・設備整備費の補助を行います。							
計画目標	継続実施 民間3園							
H22 取組結果	市内民間認可保育所2園に補助 ・伊勢原愛児園 ・伊勢原ふたば保育園	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業内容	継続実施 民間3園	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費					
		事業費内訳						
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要 施策		
		H22決算	9,862	0	3,227	0	6,635	
		H23予算	9,981	0	4,047	0	5,934	

24	私設保育施設（認定保育施設・届出保育施設）補助	担当課	保育課					
事業内容	保育要件に欠ける児童を保育することを目的として設置された認可外の保育施設に対して、その運営費などを補助します。							
計画目標	継続実施							
H22 取組結果	・市内認定保育所 1園 ・市外認定保育所 5園 ・市内届出保育所 2園	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業内容	継続実施 ・市内認定保育所 1園 ・市外認定保育所 5園 ・市内届出保育所 3園	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費					
		事業費内訳						
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要 施策		
		H22決算	9,328	0	3,108	0	6,220	○
		H23予算	10,541	0	3,512	0	7,029	

25	分園設置推進助成	担当課	保育課					
事業内容	乳児など、低年齢児を中心とした待機児童の解消を図るため、分園を設置する民間認可保育所の運営費等を補助します。							
計画目標	継続実施 民間1園							
H22 取組結果	(取組状況) 補助対象 ベルガーデン保育園	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業内容	継続実施 民間1園	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費					
		事業費内訳						
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要 施策		
		H22決算	1,800	0	800	0	1,000	○
		H23予算	1,800	0	800	0	1,000	

26	幼保連携の検討	担当課	保育課				
事業内容	幼稚園と保育所の役割を踏まえつつ、両者の機能を併せ持つ認定子ども園制度など、子どもや保護者にとってより望ましい施設の在り方を検討します。						
計画目標	継続実施						
H22 取組 結果	(取組状況) ・制度内容の研究 ・窓口での相談	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	国の子ども・子育て新システムによる制度改正の動向に注視し、新制度への対応を研究する。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23予算	0	0	0	0	0

26	幼保連携の検討	担当課	学校教育課				
事業内容	幼稚園と保育所の役割を踏まえつつ、両者の機能を併せ持つ認定子ども園制度など、子どもや保護者にとってより望ましい施設の在り方を検討します。						
計画目標	継続実施						
H22 取組 結果	認定こども園制度の内容を研究しました。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	子ども・子育て新システムに関する情報の把握に努め、関係課との情報の共有を図っていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23予算	0	0	0	0	0

2-②学習活動の支援

<施策の対応方針>

- 子どもが快適に教育を受けられる環境の整備を進めていきます。
- 多様なニーズに対応した学習活動を支援していきます。
- いじめや不登校などにも対応するため、教育相談等を充実していきます。
- 困難や悩みを抱えた子ども、保護者、教職員が気軽に相談できるような場の提供、機会の確保、人的配置など、多面的に支援していきます。
- 子どもが自ら学ぶ意欲を持ち、主体的に判断し、行動できる資質・能力を育成していきます。

27	小中学校校舎等改修事業	担当課	教育総務課					
事業内容	既存施設機能を保持するとともに、新たなニーズに対応した機能の改善を行います。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修工事 7カ所 ・外壁改修工事 4カ所 ・シャワー設備工事 1カ所 							
H22 取組 結果	トイレ改修工事 1カ所	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	トイレ改修工事 1カ所	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	57,201	19,860	0	32,322	5,019	○
		H23予算	56,837	11,891	0	26,900	18,046	○

28	小中学校校舎等地震防災対策事業	担当課	教育総務課					
事業内容	老朽化が進む小中学校の耐震補強工事を進め、児童生徒の安全を確保するため校舎等の耐震性能を高めていきます。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化率100% (H22年度未完了) 							
H22 取組 結果	桜台小学校2期校舎改築工事 (耐震化率100%)	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	事業終了	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	958,864	302,532	0	382,900	273,432	○
		H23予算	0	0	0	0	0	

29	小中学校施設維持管理	担当課	教育総務課					
事業内容	各小中学校の施設維持管理に努め、安全で快適な教育環境の充実を図ります。							
計画目標	施設・設備の改修及び修繕							
H22 取組 結果	施設・設備の改修及び修繕	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	施設・設備の改修及び修繕	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	83,035	1,134	0	0	81,901	
		H23予算	78,151	0	0	0	78,151	

30	通学区域の弾力的運用	担当課	学校教育課					
事業内容	各学校の立地条件や地域の実情等を踏まえ、個々の児童生徒の事情に応じた、通学区域の弾力的な運用を図ります。							
計画目標	継続実施							
H22 取組 結果	個々の児童生徒の事情に応じた就学指定校の変更を行いました。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	個々の児童生徒の事情に応じた就学指定校変更等の運用を行っていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23予算	0	0	0	0	0	

31	中学校給食の導入事業	担当課	学校教育課					
事業内容	中学校給食の在り方や手法について検討を進め、導入を目指します。							
計画目標	給食実施							
H22 取組 結果	中学校給食の実施手法の検討を行いました。導入までの間、スクールランチを継続実施しました。	事業評価	B・Cの理由					
		B	厳しい財政状況と他の優先すべき施策課題の対応、新学習指導要領の実施に伴う授業時間数の増加など、さらなる検証が必要な状況からH24年度導入計画を当分の間見送ることとしたため。					
H23 事業 内容	中学校給食導入に向けた検討を行うとともに、スクールランチの充実を図り継続的に実施します。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,199	0	0	0	1,199	○
		H23予算	1,989	0	0	0	1,989	○

32	教育研究、研修の充実	担当課	指導室				
事業内容	小・中学校に対する教育指定研究や教職員への研修等を計画的に推進し、教職員の資質及び指導力の向上を図ります。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究指定校小学校 6校、中学校 2校 ・学習指導訪問 小・中対象教員 48名 						
H22 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究指定校 小学校 2校、中学校 2校 ・学習指導訪問 小・中対象教員 57名 	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究指定校 小学校 3校、中学校 2校 ・学習指導訪問 小・中対象教員 約60名 	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	810	0	0	0	810
		H23予算	780	0	0	0	780

33	学習活動支援事業	担当課	指導室					
事業内容	小学校低学年において、集団生活への適応と基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、基礎・基本の確実な定着を図り、学習に取り組む姿勢をつくるため、指導補助員の配置及び小学校1・2年生の35人学級を実施します。また、中学校についても、学習支援及び集団生活への適応を図るために指導補助員を配置します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・指導補助員 小学校 9校、中学校 4校に 17名配置 ・小学校低学年 35人学級実施 (非常勤講師 9名配置) 							
H22 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・指導補助員 小学校 9校、中学校 4校に 16名配置 ・小学校低学年 35人学級実施 (非常勤講師 5名配置) 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指導補助員 小学校 9校、中学校 4校に 17名配置 ・小学校低学年 35人学級実施 (非常勤講師 4名配置) 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	30,032	0	0	0	30,032	○
		H23予算	39,311	0	0	0	39,311	○

34	移動教室推進事業	担当課	指導室				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然教室推進事業・・・図書館・子ども科学館における移動教室 ・ふれあい教育推進事業・・・小・中学校ふれあい教育の推進 						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども科学館・図書館移動教室 小学校 3・4・6年 中学校 1年 ・各小中学校のふれあい教育援助 						
H22 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども科学館・図書館移動教室 対象：小学校 3・4・6年 中学校 1年 	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども科学館・図書館移動教室 対象：小学校 3・4・6年 中学校 1年 	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	1,796	0	0	0	1,796
		H23予算	2,032	0	0	0	2,032

35	国際及び姉妹都市交流教育推進事業	担当課	指導室				
事業内容	・英語教育推進事業・・・外国人英語指導助手配置 遣事業・・・日本語指導等協力者の派遣 ・日本語指導等協力者派						
計画目標	・英語指導助手配置 小学校180日 中学校360日 ・日本語指導者派遣 小学生9校、25人 中学生4校、15人						
H22 取組 結果	・英語指導助手配置 小学校90日 中学校360日 ・日本語指導者派遣(平成22年5月1日現在) 小学生23人、6校 中学生3人、3校	事業評価	B・Cの理由				
H23 事業 内容	・英語指導助手配置 小学校220日 中学校360日 ・日本語指導者派遣(平成23年5月1日現在) 小学生24人、5校 中学生2人、2校	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳	重要 施策		
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	11,349	0	0	0	11,349
		H23予算	14,441	0	0	0	14,441

36	文化教育推進事業	担当課	指導室				
事業内容	児童・生徒による文化活動や音楽鑑賞の文化行事に対して助成を行い、児童・生徒の豊かな情操や感性を培う 体験の場を提供します。						
計画目標	・小学校演劇鑑賞会 参加児童897人(6年生) ・小学校音楽鑑賞会 参加児童934人(5年生) ・中学校演劇発表会 参加生徒200人 保護者等参観者200人 ・中学校音楽会 参加生徒280人 保護者等参観者600人						
H22 取組 結果	・小学校演劇鑑賞会 参加児童939人(6年生) ・小学校音楽鑑賞会 参加児童939人(6年生) ・中学校演劇発表会 参加生徒58人 保護者等参観者227人 ・中学校音楽会 参加生徒449人 保護者等参観者890人	事業評価	B・Cの理由				
H23 事業 内容	・小学校演劇鑑賞会 参加児童約970人(6年生) ・小学校音楽鑑賞会 参加児童約970人(6年生) ・中学校演劇発表会 参加生徒約60人 保護者等参観者約230人 ・中学校音楽会 参加生徒約450人 保護者等参観者約900人	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳	重要 施策		
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	3,148	0	0	0	3,148
		H23予算	3,195	0	0	0	3,195

36	文化教育推進事業	担当課	教育センター				
事業内容	児童・生徒による文化活動や音楽鑑賞の文化行事に対して助成を行い、児童・生徒の豊かな情操や感性を培う体験の場を提供します。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校美術展 ・理科展 ・読書感想文コンクール ・校内書道コンクール 						
H22 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校美術展 ・理科展 ・読書感想文コンクール ・校内書道コンクール 	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校美術展 ・理科展 ・読書感想文コンクール ・校内書道コンクール 	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	245	0	0	0	245
		H23予算	245	0	0	0	245

37	情報教育推進事業	担当課	指導室					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育の推進 ・小学校児童指導用コンピュータの配置 ・中学校生徒指導用コンピュータの配置 ・学校図書館教育用コンピュータの配置 ・小学校教職員用コンピュータの配置 ・中学校教職員用コンピュータの配置 							
計画目標	<p><教育用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校PC室 各41台 (大山小14台) ・石田小学校図書館用PC PC1台 ・中学校PC室 各42台 (伊中第2PC室41台) ・小中学校可動用PCを各3台導入 (大山小1台) <p><教職員用></p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校329台 中学校183台 							
H22 取組 結果	<p><教育用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校PC室 各41台 (大山小14台) ・石田小学校図書館用PC PC1台 ・中学校PC室 各42台 (伊中第2PC室41台) ・小中学校可動用PCを各3台 (大山小1台) <p><教職員用></p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校329台 中学校183台 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	<p><教育用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校PC室 各41台 (大山小14台) ・石田小学校図書館用PC PC1台 ・中学校PC室 各42台 (伊中第2PC室41台) ・小中学校可動用PCを各3台 (大山小1台) <p><教職員用></p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校329台 中学校183台 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	125,942	0	0	0	125,942	○
		H23予算	113,217	0	0	0	113,217	○

38	創意ある学校づくり推進事業	担当課	指導室					
事業内容	各学校における、創意工夫を生かした特色ある教育活動の展開（「開かれた学校」や「総合的な学習の時間」の取組）と、学校・家庭・地域社会が連携協力（「地域連絡会」の運営）する中で地域を挙げて子どもを育む教育を充実します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」等における地域住民の参加者数 年間延べ約4,500人 ・「学校へ行こう週間」を年度内に1～2週間実施 ・「学校地域連絡会」を開催し、地域の方々の意見を学校経営に反映 							
H22 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」等における地域住民の指導協力者数 年間延べ約7,000人 ・「学校へ行こう週間」を年度内に1週間程度実施 ・「学校地域連絡会」を開催し、地域の方々の意見を学校経営に反映 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」等における地域住民の指導協力者数 年間延べ約7,000人 ・「学校へ行こう週間」を年度内に1週間程度実施 ・「学校地域連絡会」を開催し、地域の方々の意見を学校経営に反映 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	4,362	0	0	0	4,362	
		H23予算	5,078	0	0	0	5,078	

39	部活動推進事業	担当課	指導室					
事業内容	中学校における部活動の振興を図るため、指導協力者を各中学校に派遣するとともに、生徒の各種大会への参加及び大会の運営について中学校体育連盟に対し助成します。							
計画目標	継続実施							
H22 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な技術を有する者を部活動指導協力者として派遣し、中学校部活動の活性化を図る。 合計4中学校26名の予算で実施 ・全国関東大会生徒派遣旅費等助成 ・伊勢原市中学校体育大会運営助成 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な技術を有する者を部活動指導協力者として派遣し、中学校部活動の活性化を図る。 合計4中学校24名の予算で実施 ・全国関東大会生徒派遣旅費等助成 ・伊勢原市中学校体育大会運営助成 ・神奈川県中学校総合体育大会開催協力 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	7,415	0	810	0	6,605	
		H23予算	8,874	0	730	0	8,144	

40	各学校との連携	担当課	福祉総務課					
事業内容	「総合的な学習の時間」等を活用した、中学校や高等学校等での福祉のシニア体験の授業や、学習活動の一環として行われている高校生の独居老人訪問等に対する情報提供等を通じて、市内各学校の多様な学習活動を支援します。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	*インスタントシニアの貸出 インスタントシニア（高齢者疑似体験セット）を希望する団体等に貸し出し、疑似体験してもらうことによりバリアフリーに対する理解を促進した。（H22貸出実績：2団体） *東海大学健康科学部学生の福祉実習において、インスタントシニアを活用し、公共施設（図書館等）で疑似体験を実施し、バリアフリーに対する理解を促進した。	事業評価	B・Cの理由					
H23事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23予算	0	0	0		0	0

41	伊勢原市子ども読書活動推進事業	担当課	社会教育課					
事業内容	伊勢原市における子ども読書活動の推進に向けて、具体的な施策事業を市民協働により実践することを通じて、子ども読書活動に関する法律に基づく計画を推進する。							
計画目標	定期的に時代や社会情勢に対応した計画の見直しを実施							
H22取組結果	現行計画見直し期間であり、平成24年度の計画改定に向け、調査・研究を行った。	事業評価	B・Cの理由					
H23事業内容	平成24年度の計画改定に向け、調査・研究を行う。	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23予算	0	0	0		0	0

42	特別支援教育推進事業	担当課	教育センター					
事業内容	支援を必要とする児童生徒が、それぞれの状況に適した教育を受けられるよう適切な就学指導や通学援助等を行います。 ・市就学指導委員会の開催 ・伊勢原養護学校通学援助の実施 ・特別支援学級の設置							
計画目標	個に応じた特別支援教育の充実に向けて継続実施							
H22取組結果	支援を必要とする児童生徒が、それぞれの状況に適した教育を受けられるよう適切な就学指導や通学援助等を行いました。 ・市就学指導委員会5回開催 ・伊勢原養護学校通学援助の実施 ・特別支援学級の設置	事業評価	B・Cの理由					
H23事業内容	支援を必要とする児童生徒が、それぞれの状況に適した教育を受けられるよう適切な就学指導や通学援助等を行います。 ・市就学指導委員会4回開催 ・伊勢原養護学校通学援助の実施 ・特別支援学級の設置	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	1,819	0	0		0	1,819
		H23予算	1,800	0	0		0	1,800

43	特別支援教育環境整備事業	担当課	教育センター					
事業内容	支援を必要とする児童生徒が適切な教育を受けられるよう、特別支援学級介助員を配置します。							
計画目標	個に応じた特別支援教育環境整備の充実に向けて継続実施							
H22 取組 結果	支援を必要とする児童生徒が適切な教育を受けられるよう、特別支援学級介助員を配置しました。 ・就学者 小：108人 中：40人 ・学級数 小：24学級 中：13学級 ・介助員 小：13人/日 中：2.5人/日	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	支援を必要とする児童生徒が適切な教育を受けられるよう、特別支援学級介助員を配置します。 介助員 小：14人/日 中：4人/日	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	19,483	0	0	0	19,483	○
		H23予算	23,307	0	0	0	23,307	○

44	特別支援教育就学奨励事業	担当課	学校教育課					
事業内容	特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、子どもの学習活動にかかる費用の一部を助成し、保護者の経済的負担の軽減並びに障害児教育の推進を図ります。							
計画目標	継続実施							
H22 取組 結果	特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済状況に応じて、学用品費等必要な経費の一部について援助を行いました。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済状況に応じて、学用品費等必要な経費の一部について援助を行っていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	2,303	1,151	0	0	1,152	
		H23予算	2,576	1,288	0	0	1,288	

45	就学相談	担当課	教育センター					
事業内容	支援を必要とする児童生徒の就学及び進学に関わる相談を、随時、保護者と行います。							
計画目標	就学相談の充実に向けて継続実施							
H22 取組 結果	支援を必要とする児童生徒の就学及び進学に関わる相談を、随時、保護者と行いました。 新就学時相談 ・特別支援学校入学 ・特別支援学級入学 ・通常の学級入学	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	支援を必要とする児童生徒の就学及び進学に関わる相談を、随時、保護者と行います。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23予算	0	0	0	0	0	

46	療育相談	担当課	子育て支援課
事業内容	専門相談員が、心身の発達に遅れや心配のある乳幼児等に関する相談に応じ、具体的な支援を行います。		
計画目標	相談支援件数 2, 200件		
H22 取組 結果	(執行実績) ・相談支援件数：1, 682件	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)	
		年度	総事業費
			事業費内訳
			国庫負担金
			県支出金
			その他
			一般財源
			重要 施策
		H22決算	10,106
		H23予算	10,790
			0
			0
			0
			10,106
			10,790
			○
			○

47	教育センターの教育相談事業	担当課	教育センター
事業内容	伊勢原市内に在住、在学の児童生徒についての教育相談（学校不適応・家庭教育等）を、本人や家族又は教職員などから受け付けます。		
計画目標	相談事業の充実に向けて継続実施		
H22 取組 結果	・教育センター教育相談（教育相談員3. 2人/日） 来所相談 1385回 電話相談 185回 訪問相談 205回 巡回相談 49回 その他 24回 ・学校訪問教育相談・支援教育研修会15回 ・子どもと親の相談員配置 2校 ・学生ボランティア活用 19人	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23 事業 内容	伊勢原市内に在住、在学の児童生徒についての教育相談（学校不適応・家庭教育等）を、本人や家族又は教職員などから受け付けます。	予算額・財源内訳(単位：千円)	
		年度	総事業費
			事業費内訳
			国庫負担金
			県支出金
			その他
			一般財源
			重要 施策
		H22決算	5,530
		H23予算	6,211
			0
			0
			0
			5,530
			6,211
			○
			○

48	適応指導教室事業	担当課	教育センター
事業内容	不登校児童生徒のための適応指導教室を運営します。		
計画目標	適応指導教室経営の充実に向けて継続実施		
H22 取組 結果	適応指導教室へ通室する不登校児童生徒のそれぞれの成長を、様々な活動を通して支援しました。 ・適応指導教室スタッフ 4人	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23 事業 内容	適応指導教室へ通室する不登校児童生徒のそれぞれの成長を、様々な活動を通して支援します。 ・適応指導教室スタッフ 4人	予算額・財源内訳(単位：千円)	
		年度	総事業費
			事業費内訳
			国庫負担金
			県支出金
			その他
			一般財源
			重要 施策
		H22決算	3,814
		H23予算	4,099
			0
			0
			0
			3,814
			4,099

49	スクールカウンセラーの配置	担当課	教育センター					
事業内容	児童生徒のカウンセリング及び教職員・保護者への助言・援助を行います。							
計画目標	小学校へのスクールカウンセラー配置による充実・継続実施							
H22 取組 結果	中学校スクールカウンセラーによる児童生徒の カウンセリング及び教職員・保護者への助言・ 援助を行いました。 ・中学校スクールカウンセラー4校（県費）	事業評価	B・Cの理由					
		B	小学校にスクールカウンセラーを配置することができ ず、教育相談員の派遣にとどまったため					
H23 事業 内容	小中学校スクールカウンセラーによる児童生徒 のカウンセリング及び教職員・保護者への助 言・援助を行います。 ・市費小学校スクールカウンセラー8校 ・県費対象小学校スクールカウンセラー2校 ・県費中学校スクールカウンセラー4校	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	320	0	0	0	320	○
		H23予算	1,609	0	0	0	1,609	○

50	(再) 子ども科学館事業	担当課	図書館・子ども科学館					
事業内容	子どもたちに、科学の知識と豊かな創造性を育むため、様々な科学的現象を体験する機会を提供して興味を喚起するとともに、子どもたちの「科学する心」を育てます。・展示事業・プラネタリウム事業・科学教育普及事業							
計画目標	・科学教育普及事業 500事業 ・夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 ・青少年創意くふう展の開催回数 1回							
H22 取組 結果	・科学教育普及事業 604事業 ・夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 ・夏休み自由研究の発表の場として小学生自由研究展示会を開催した 1回	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	・科学教育普及事業 600事業 ・夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 ・小学生自由研究展示会の開催回数 1回	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,196	0	0	0	1,196	
		H23予算	1,439	0	0	0	1,439	

2-③思春期の健全な成長のための環境整備

<施策の対応方針>

- 思春期で抱える悩みへの相談事業に取り組んでいきます。
- 子どもにとって悪影響が懸念される情報やメディア等の扱いについて、関係業界への自主的な措置を働きかけていきます。
- 子どもの非行防止に取り組んでいきます。
- 学校や関係機関と連携しながら、思春期世代の健全育成に取り組みます。

51	街頭指導活動の実施	担当課	青少年課				
事業内容	青少年の非行を未然に防止するため、街頭において、喫煙や不良交友などの問題行動を発見し、助言・指導を行います。						
計画目標	街頭指導回数 210回						
H22 取組 結果	街頭指導回数 193回 指導件数 84件	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	非行防止街頭啓発キャンペーン等を実施します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	4,260	0	264	0	3,996
		H23予算	4,209	0	271	0	3,938

52	啓発活動の推進	担当課	青少年課				
事業内容	環境浄化活動の実施、未成年者喫煙防止活動の実施、薬物乱用防止、非行防止対策シリーズの配布、青少年の非行防止に取り組む強調月間の推進等						
計画目標	継続実施 ※平成22年度より名称変更 「青少年の非行・被害防止強調月間」						
H22 取組 結果	非行防止街頭啓発キャンペーンの実施	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	非行防止街頭啓発キャンペーン等を実施します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23予算	0	0	0	0	0

53	環境浄化活動の実施	担当課	青少年課																																														
事業内容	■有害図書等社会環境実態調査：有害図書類陳列調査 ■ビデオレンタルショップ実態調査：アダルトビデオ等青少年に有害なビデオを青少年に貸し出さないようレンタルビデオ店に協力を要請 ■カラオケボックス等の実態調査：青少年がカラオケボックスを利用する場合、飲酒・喫煙行為をさせないよう店の管理者に協力を要請 ■有害看板の撤去：青少年指導員と協力して、青少年にとって有害な看板を含む違法看板を撤去する ■その他：看板、市広報紙による啓発																																																
計画目標	継続実施																																																
H22取組結果	書店やカラオケ店等の実態調査を実施 青少年指導員と協力して、青少年にとって有害な看板を含む違法看板を撤去	事業評価	B・Cの理由																																														
		A																																															
H23事業内容	書店やカラオケ店等の実態調査を実施するとともに、青少年指導員と協力して、青少年にとって有害な看板を含む違法看板の撤去を実施します。	予算額・財源内訳(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23予算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	0	0	0	0	0		H23予算	0	0	0	0	0																						
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	0	0	0	0	0																																												
H23予算	0	0	0	0	0																																												

54	未成年者喫煙防止活動の実施	担当課	青少年課																																														
事業内容	■パンフレット等の配布：市内小・中・高校生にタバコの害に関するちらしを配布 ■その他：看板、市広報紙等による啓発																																																
計画目標	継続実施																																																
H22取組結果	市内小・中学生、高校生にタバコの害に関するちらし9,250部を配付 看板、市広報紙等による啓発活動を実施	事業評価	B・Cの理由																																														
		A																																															
H23事業内容	市内小・中学生、高校生にタバコの害に関するちらしの配付や中学生等にタバコに関するビデオ貸出等を実施するとともに、看板、市広報紙等による啓発活動を実施します。	予算額・財源内訳(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23予算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	0	0	0	0	0		H23予算	0	0	0	0	0																						
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	0	0	0	0	0																																												
H23予算	0	0	0	0	0																																												

55	薬物乱用防止の推進	担当課	青少年課																																														
事業内容	薬物乱用防止パンフレットを作成し、市内中学生に配布するとともに、薬物乱用防止のビデオを学校に貸し出し、有害性を訴え、薬物の乱用を防止します。また、各種薬物乱用防止キャンペーンへの協力を行います。																																																
計画目標	継続実施																																																
H22取組結果	薬物乱用防止パンフレットを4,000部作成し、市内中学生に配付し、薬物乱用を防止、有害性を訴えた。	事業評価	B・Cの理由																																														
		A																																															
H23事業内容	薬物乱用防止ちらしを作成し、市内中学生に配付するとともに、薬物乱用防止教室の実施、ビデオの貸し出し等を行い、薬物乱用を防止、有害性を訴えていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23予算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	0	0	0	0	0		H23予算	0	0	0	0	0																						
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	0	0	0	0	0																																												
H23予算	0	0	0	0	0																																												

56	非行防止の啓発	担当課	青少年課
事業内容	未成年の喫煙、家出、シンナー等乱用などのちらしを市各種行事や会議等に配布し、啓発を進めます。		
計画目標	継続実施		
H22取組結果	未成年の喫煙、シンナー等乱用などのちらしを市各種行事や会議等で配布	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23事業内容	未成年の喫煙、シンナー等乱用などのちらしを市各種行事や会議等で配布します。	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	0	0 0 0 0
	H23予算	0	0 0 0 0

57	青少年の非行防止に取り組む強調月間の推進	担当課	青少年課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 明るい家庭づくりパネル展：非行防止、社会環境浄化、家庭教育等啓発のパネルを展示 ■ 非行防止街頭啓発キャンペーン：伊勢原駅等において関係諸団体等が非行防止や薬物乱用防止を呼びかける。 ■ その他：懸垂幕、市広報、リーフレット、啓発物品による啓発 		
計画目標	継続実施 ※平成22年度より名称変更 「青少年の非行・被害防止強調月間」		
H22取組結果	明るい家庭づくりパネル展を実施 非行防止街頭啓発キャンペーンを実施	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23事業内容	明るい家庭づくりパネル展や非行防止街頭啓発キャンペーンを実施し、啓発活動を推進します。	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	0	0 0 0 0
	H23予算	0	0 0 0 0

58	ヤングテレホン相談事業	担当課	青少年課
事業内容	対人関係や身体・健康・性についてなど、子ども達の様々な悩みに対する電話相談を実施します。		
計画目標	相談受理件数 70件		
H22取組結果	継続実施 相談受理件数 139件	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23事業内容	継続実施 相談受理件数 70件	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	2,059	0 0 0 2,059
	H23予算	2,045	0 0 0 2,045

59	青少年相談室の相談事業	担当課	青少年課				
事業内容	学校生活や不登校、家庭関係、不良行為等、子どもたちが抱える様々な悩みや問題に対処し、効果的に解決していくため、青少年相談室が相談事業を行い、子どもたちの健全育成を図ります。						
計画目標	相談受理件数 50件						
H22取組結果	継続実施 相談受理件数 19件	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	継続実施 相談受理件数 50件	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費				
		事業費内訳					
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要施策	
		H22決算	4,260	0	264	0	3,996
		H23予算	4,209	0	271	0	3,938

60	思春期栄養改善事業	担当課	学校教育課				
事業内容	中学生を対象に、児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにするため、中学校での骨密度測定等を実施し、栄養改善を推進します。						
計画目標	中学校4校 各1学年						
H22取組結果	望ましい食習慣を身に付けてもらうため、4中学校の2年生を対象に、骨密度測定を取り入れた栄養指導を行いました。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	望ましい食習慣を身に付けてもらうため、4中学校の2年生を対象に、骨密度測定を取り入れた栄養指導を行います。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費				
		事業費内訳					
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要施策	
		H22決算	48	0	0	0	48
		H23予算	154	0	0	0	154

61	思春期食育事業	担当課	健康管理課				
事業内容	高校生を対象に、児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにするため、高等学校での骨密度測定等を実施し、栄養改善を推進します。						
計画目標	骨密度測定、食教育及び食事相談を実施 高等学校2校						
H22取組結果	高等学校1校に骨密度測定、食教育及び食事相談を実施。	事業評価	B・Cの理由				
		B	高校側が骨量測定の受け入れが難しく、学校数を増やすことが難しかった。				
H23事業内容	高等学校1校に骨密度測定、食教育及び食事相談を実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費				
		事業費内訳					
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要施策	
		H22決算	219	109	0	0	110
		H23予算	196	98	0	0	98

62	(再) 中学校給食の導入事業	担当課	学校教育課					
事業内容	中学校給食の在り方や手法について検討を進め、導入を目指します。							
計画目標	給食実施							
H22 取組 結果	中学校給食の実施手法の検討を行いました。 導入までの間、スクールランチを継続実施しました。	事業評価	B・Cの理由					
		B	厳しい財政状況と他の優先すべき施策課題の対応、新学習指導要領の実施に伴う授業時間数の増加など、さらなる検証が必要な状況からH24年度導入計画を当分の間見送ることとしたため。					
H23 事業 内容	中学校給食導入に向けた検討を行うとともに、 スクールランチの充実を図り継続的に実施します。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	1,199	0	0	0	1,199	○
		H23予算	1,989	0	0	0	1,989	○

2-④子どもの健全育成の支援

<施策の対応方針>

- 青少年センターや公民館等、子どもたちの活動の場の活性化を図ります。
- 次代を担う子どもの自立心と創造性を培い、「生きる力」を身につける青少年健全育成活動や生涯学習活動を推進します。
- 青少年広場や児童遊園の維持管理を推進し、子どもたちの遊び場の確保に努めます。
- 不登校や引きこもり等を防止し、その解決を図るため、子どもや家庭に対する相談・指導体制を充実します。
- 放課後における児童の居場所づくりや市民ニーズに対応した放課後児童健全育成事業を充実します。

63	青少年センターの管理運営	担当課	青少年課					
事業内容	青少年の社会参加、文化、スポーツ等の諸活動及び青少年育成団体の拠点とします。							
計画目標	市内中心部の青少年学習施設として有効活用							
H22 取組 結果	継続実施 利用者 78,811人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	市内中心部の青少年学習施設として有効活用します。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	17,781	0	0	243	17,538	
		H23予算	19,040	0	0	239	18,801	

64	青少年広場及び児童遊園の維持管理	担当課	青少年課					
事業内容	健全な児童の遊びや活動の場として、維持管理を行います。							
計画目標	地域における青少年の健全育成を推進するため、維持管理の継続実施							
H22 取組 結果	継続実施	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	地域における青少年の健全育成を推進するため、維持管理の継続実施を行います。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	8,233	0	0	0	8,233	
		H23予算	8,307	0	0	0	8,307	

65	日向ふれあい学習センターの管理運営	担当課	青少年課				
事業内容	市民が自然の中での体験や人との交流を通じて、豊かな人間性や協調性を育むふれあい活動の拠点として、日向ふれあい学習センターの利活用の促進を図ります。						
計画目標	指定管理者制度の導入により、利用者の利便性向上や満足度の向上						
H22 取組 結果	継続実施 指定管理者制度の導入により、利用者の利便性向上や満足度アップを図った。 利用者 4,602人	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	指定管理者制度の導入により、利用者の利便性向上や満足度のアップを図ります。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費				
		事業費内訳					
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要 施策	
		H22決算	10,550	0	0	10,550	
		H23予算	10,572	0	0	10,572	

66	児童館の管理運営	担当課	青少年課				
事業内容	児童に健全な遊びや活動の場を提供するとともに、地域における青少年育成活動の拠点とします。						
計画目標	・児童に健全な遊びや活動の場を提供 ・地域における青少年育成活動の拠点として、児童に健全な遊びを指導、利用者の拡大						
H22 取組 結果	継続実施 市内13館を指定管理者委託 7館に指導員を配置し、児童に健全な遊びの指導をするるとともに、利用者の拡大を図った。 利用者 38,368人	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	児童に健全な遊びや活動の場を提供するとともに、地域における青少年育成活動の拠点として、児童に健全な遊びの指導と利用者の拡大を図ります。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費				
		事業費内訳					
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要 施策	
		H22決算	15,066	0	0	15,066	
		H23予算	12,346	0	0	12,346	

67	青少年健全育成事業	担当課	青少年課				
事業内容	青少年の健全育成を目指して、家庭・学校・地域など子どもを取り巻くあらゆる立場の人々が連携を深め、地域社会の健全化と指導力の向上に努めるため、青少年健全育成組織の育成を図るとともに、地域における育成活動を積極的に推進します。						
計画目標	青少年健全育成団体の育成・支援を推進						
H22 取組 結果	継続実施	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	青少年健全育成団体の育成・支援を推進します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費				
		事業費内訳					
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要 施策	
		H22決算	9,053	875	312	0	7,866
		H23予算	8,615	875	271	0	7,469

68	青少年活動推進事業	担当課	青少年課					
事業内容	学校や年齢の枠を超えた友達づくりを図るとともに、青少年自らの幅広い知識の習得と自己形成のための学習活動を推進します。							
計画目標	地域での青少年のふれあい・体験交流活動の推進 12事業 3,300人							
H22 取組 結果	継続実施	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	地域での青少年のふれあい・体験交流活動の実施を推進します。 12事業 3,300人	予算額・財源内訳(単位:千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	416	0	139		0	277
		H23予算	470	0	157		0	313

69	公民館事業	担当課	社会教育課					
事業内容	各公民館で、青少年向けの公民館事業を実施します。							
計画目標	青少年対象事業 7館 20講座							
H22 取組 結果	市内7公民館で36講座実施した。 ・中央公民館 6講座 230人参加 ・大山公民館 6講座 251人参加 ・高部屋公民館 3講座 155人参加 ・比々多公民館 5講座 568人参加 ・成瀬公民館 6講座 223人参加 ・大田公民館 5講座 181人参加 ・伊勢原南公民館 4講座 171人参加	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	各公民館で、青少年向けの公民館事業を実施します。	予算額・財源内訳(単位:千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	69	0	0		0	69
		H23予算	97	0	0		0	97

70	放課後児童健全育成事業（児童コミュニティークラブ）	担当課	子育て支援課				
事業内容	放課後、保護者が就労や病気などで児童の世話をすることができない家庭を対象に、児童が安全に自由に生活できる場として「児童コミュニティークラブ」を開設し、遊びを通じた生活指導を行います。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全小学校区（10校）で実施 ・計14クラブ 定員 720人 入所児童数 720人 ・開所時間の延長 						
H22取組結果	放課後、保護者が就労や病気などで児童の世話をすることができない家庭を対象に、児童が安全に自由に生活できる場として「児童コミュニティークラブ」を開設し、遊びを通じた生活指導を行った。 ・市内全小学校区（10校）で実施した。 ・計13クラブ 定員720人 平均入所児童数 677人 ・感染症対策として安心子ども交付金を全13クラブに空気清浄機の設置を行った。	事業評価	B・Cの理由				
H23事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 ・事業を委託する民間事業所の開拓 	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	101,184	0	30,088	28,759	42,337
		H23予算	98,755	0	38,706	27,907	32,142

71	図書館児童読み聞かせサービス事業	担当課	図書館・子ども科学館				
事業内容	活字離れが進む中で、子どもの読書活動の動機づけを行い、また、子どもと保護者、読み手とのあたたかい交流を図るため、職員や読み聞かせボランティア団体によるおはなし会を開催します。						
計画目標	おはなし会 150回						
H22取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 108回 ・図書館ボランティア講座（紙芝居） 1回 ・おとうさん、おじいちゃんのおはなし会育成講座 1回 	事業評価	B・Cの理由				
H23事業内容	おはなし会 110回	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	67	0	0	0	67
		H23予算	94	0	0	0	94

72	子ども科学館事業	担当課	図書館・子ども科学館				
事業内容	子どもたちに、科学の知識と豊かな創造性を育むため、様々な科学的現象を体験する機会を提供して興味を喚起するとともに、子どもたちの「科学する心」を育てます。 ・展示事業 ・プラネタリウム事業 ・科学教育普及事業						
計画目標	・科学教育普及事業 500事業 ・夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 ・青少年創意くふう展の開催回数 1回						
H22 取組 結果	・科学教育普及事業 604事業 ・夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 ・夏休み自由研究の発表の場として小学生自由研究展示会を開催した 1回	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	・科学教育普及事業 600事業 ・夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 ・小学生自由研究展示会の開催回数 1回	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	1,196	0	0	0	1,196
		H23予算	1,439	0	0	0	1,439

73	ミニデイ・ミニサロン活動における世代間交流の推進	担当課	介護高齢福祉課				
事業内容	地域の高齢者の閉じこもり・介護予防事業として実施しているミニデイ・ミニサロン活動（民生委員等地域ボランティアにより運営）における、高齢者と子どもたちとの地域交流の取組を支援していきます。						
計画目標	継続実施						
H22 取組 結果	ミニデイ・ミニサロン活動の代表者が計画し、地域の就学・未就学の親子の参加の場を設けている。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	13	3	2	8	0
		H23予算	17	4	2	11	0

74	海外姉妹都市高校生相互派遣事業	担当課	市民協働課				
事業内容	高校生が、海外姉妹都市でのホームステイを通じて外国の文化や生活習慣を学び、親善を深めることを目的として、伊勢原市姉妹都市委員会が実施する高校生の海外姉妹都市派遣事業に対し、市として支援します。						
計画目標	派遣高校生 2名						
H22 取組 結果	当該事業の実施主体である伊勢原市国際交流委員会（伊勢原市姉妹都市委員会から名称変更）が協議した結果、当該事業のあり方を抜本的に見直すこととなり、H22年度の派遣は見送りとなった。	事業評価	B・Cの理由				
		B	国際交流委員会による取組の未実施による。				
H23 事業 内容	国際交流委員会が協議した結果、H23年度の派遣は見送ることになった。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23予算	100	0	0	0	100

75	国内姉妹都市少年交流推進事業	担当課	青少年課
事業内容	茅野市との交流を通じて社会性を養い自己を確立するとともに、指導性を習得するため交流団体に対し助成します。		
計画目標	継続実施		
H22取組結果	参加者 サッカー 20人 バスケットボール 92人	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23事業内容	スポーツを通じた青少年の姉妹都市交流により、青少年の健全育成及びリーダー性の習得を図ります。	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	175	0 58 0 117
	H23予算	222	0 74 0 148

76	(再) 教育センターの教育相談事業	担当課	教育センター
事業内容	伊勢原市内に在住、在学の児童生徒についての教育相談(学校不適応・家庭教育等)を、本人や家族又は教職員などから受け付けます。		
計画目標	相談事業の充実に向けて継続実施		
H22取組結果	・教育センター教育相談(教育相談員3.2人/日) 来所相談 1385回 電話相談 185回 訪問相談 205回 巡回相談 49回 その他 24回 ・学校訪問教育相談・支援教育研修会15回 ・子どもと親の相談員配置 2校 ・学生ボランティア活用 19人	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23事業内容	伊勢原市内に在住、在学の児童生徒についての教育相談(学校不適応・家庭教育等)を、本人や家族又は教職員などから受け付けます。	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	5,530	0 0 0 5,530
	H23予算	6,211	0 0 0 6,211

77	(再) 適応指導教室事業	担当課	教育センター
事業内容	不登校児童生徒のための適応指導教室を運営します。		
計画目標	適応指導教室経営の充実に向けて継続実施		
H22取組結果	適応指導教室へ通室する不登校児童生徒のそれぞれの成長を、様々な活動を通して支援しました。 ・適応指導教室スタッフ 4人	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23事業内容	適応指導教室へ通室する不登校児童生徒のそれぞれの成長を、様々な活動を通して支援します。 ・適応指導教室スタッフ 4人	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	3,814	0 0 0 3,814
	H23予算	4,099	0 0 0 4,099

基本目標3 多様なニーズを持つすべての子育て家庭を支援します。

施策の目標

- 伊勢原が子育てしやすいまちであると感じる保護者の割合を増やします
- 子育てに対する悩みや不安が少ないと感じる保護者の割合を増やします

3-①多様な子育て支援サービスの充実方針

<施策の対応方針>

- 様々な育児環境に応じた、多様な子育て支援サービスを提供していきます。
- 保護者の就労形態に応じた、保育サービスの提供に努めます。

78	(再) ファミリー・サポート・センター事業	担当課	子育て支援課				
事業内容	児童の健やかな成長や子育て中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と支援を行いたい人(支援会員)からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・設置箇所数 1箇所 ・会員総数 1,180人 						
H22 取組 結果	(執行実績) ・設置箇所数：1箇所 ・会員総数：804人 内訳 ・依頼会員：569人 ・支援会員：197人 ・両方会員：38人 ・延べ活動回数：2,196回	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	児童の健やかな成長や子育ての中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と支援を行いたい人(支援会員)からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	4,656	2,375	0	0	2,281
		H23予算	4,825	2,412	0	0	2,413

79	養育支援訪問事業	担当課	子育て支援課				
事業内容	出産後間もない時期の養育者や様々な原因で養育が困難になっている家庭に育児・家事等の援助を行うヘルパーや保健師、保育士等を派遣し、育児支援を行うことにより、養育上の諸問題の解決、軽減を図り、虐待を未然に防止することに繋がります。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・産褥期ヘルパー派遣 8件 延80日 ・専門的家庭訪問 10件 延120日 						
H22 取組 結果	(執行実績) ・産褥期ヘルパー派遣 10件、延83日 ・専門的家庭訪問 6件、延24日	事業評価	B・Cの理由				
		B	専門的家庭訪問においては、中短期的な支援となっているため、回数が制限されている。				
H23 事業 内容	継続実施 ・産褥期ヘルパー派遣 5件 延50日 ・専門的家庭訪問 10件 延65日	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	219	169	0	0	50
		H23予算	343	171	0	0	172

80	母子家庭等日常生活支援事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	病気等で一般的に家庭支援等のサービスが必要な場合などの際、家庭生活支援員を派遣することにより、日常生活における生活援助と育児支援を行います。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	ひとり親家庭に対し、家事援助等のための生活支援員を派遣する。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23予算	178	0	115		0	63

81	家庭的保育事業	担当課	保育課					
事業内容	保護者の就労や出産、疾病、介護などの理由で、家庭で保育することができないと認められる児童を、市が認定した家庭的保育者の居宅に整備された保育室において保育します。							
計画目標	家庭的保育者登録 2人							
H22取組結果	(取組状況) ・国制度に準じた事業実施に係る研究と家庭的保育者制度の研究	事業評価	B・Cの理由					
		C	実施に至っていないため					
H23事業内容	・国制度に準じた事業実施に係る研究と家庭的保育者制度の研究	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23予算	0	0	0		0	0

82	一時預かり事業	担当課	保育課						
事業内容	勤務形態の変化や保護者の傷病、育児に伴う心理的・肉体的負担を解消するために、保育所での一時預かりを行います。 ・非定型的保育サービス(週3日を限度) ・緊急保育サービス ・私的理由による保育サービス								
計画目標	継続実施 公立2園 民間6園								
H22取組結果	(取組状況) ・継続実施 公立1園 民間6園	事業評価	B・Cの理由						
		A							
H23事業内容	継続実施 公立1園 民間6園	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要施策			
		年度	総事業費	事業費内訳					
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源	
		H22決算	5,580	2,790	0		0	2,790	○
		H23予算	7,830	3,915	0		0	3,915	

83	幼稚園における預かり保育	担当課	学校教育課
事業内容	保護者に対して、市内私立幼稚園で実施されている預かり保育に関する情報提供を行います。		
計画目標	継続実施		
H22取組結果	窓口や電話での問い合わせに対し情報提供を行ったほか、広報いせはら（9/15号）への掲載を行いました。	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23事業内容	私立幼稚園が実施する預かり保育に関する情報提供を行っていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	0	0 0 0 0
	H23予算	0	0 0 0 0

84	やすらぎサービス	担当課	社会福祉協議会
事業内容	保育所への送迎、産前産後の母親への家事援助、虚弱の母親に対する育児援助等の各種育児支援サービスを提供します。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・協力会員 100人 ・利用会員 180人 ・延派遣回数 2,500回 ・延派遣時間 4,000時間 		
H22取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・協力会員 68人(15人の増) ・利用会員 290人(56人の増) ●派遣回数 3,557回(3月末日) ●派遣実績 4,901時間(3月末日) 	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23事業内容	継続実施 財源は社会福祉協議会自主財源(会費)を活用	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	8,793	0 0 8,793 0
	H23予算	9,968	0 0 9,968 0

85	レスパイトサービス事業	担当課	障害福祉課
事業内容	知的障害児がいる家族の日ごろの心身の疲れを軽減するとともに、本人の社会性と自立心を養うため、春休み・夏休み期間、市内事業所（みどり園）で一時的に預かり、養育や介護を行います。		
計画目標	・実施日数52日		
H22取組結果	・実施日数47日	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23事業内容	・実施日数52日	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	5,867	0 0 380 5,487
	H23予算	6,467	0 0 430 6,037

86	学齢期デイサービス等への障害福祉サービス費支給制度	担当課	障害福祉課					
事業内容	障害児が児童デイサービス等を受ける際に、障害者自立支援法による申請に基づき支給決定を行います。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実利用人数 393人 ・延利用日数 10,699日 							
H22取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・実利用人数 320人 ・延利用日数 9,401日 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実利用人数 393人 ・延利用日数 10,699日 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	74,204	37,102	18,551	0	18,551	
		H23予算	74,898	37,449	18,724	0	18,725	

87	特定保育事業	担当課	保育課					
事業内容	保護者が就労等により一定程度（1ヶ月当たり概ね6.4時間以上）児童を家庭で保育することが出来ない場合に、必要な日時について保育所で保育します。							
計画目標	実施保育所 公立2園 民間5園							
H22取組結果	(取組状況) ・継続実施 公立1園 民間5園	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	継続実施 公立1園 民間6園	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	11,340	0	7,440	0	3,600	○
		H23予算	14,580	0	9,720	0	4,860	

3-②ワーク・ライフ・バランス及び男女共同参画社会の実現

<施策の対応方針>

- 保護者のニーズに柔軟に対応できる保育サービスを提供します。
- 保育を受けることができている待機児童の解消に努めていきます。
- 男女共同参画社会の実現に取り組んでいきます。
- 職業生活と家庭生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図るため、働き方の見直しと多様な働き方の実現に向けて、国、県、関係機関と連携して、事業主等に対し働きかけていきます。
- 出産等により職場を離れた人の再就職を支援するための学習機会や情報の提供など、再就職支援に努めてい

88	通常保育事業	担当課	保育課				
事業内容	児童福祉法第7条に定める児童福祉施設において、保護者の就労又は疾病等により保育に欠ける乳児又は幼児（法第24条）の保育を行います。						
計画目標	定員 1, 215人						
H22 取組 結果	定員 1, 185人	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	定員 1, 225人	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	703,243	185,297	92,649	210,188	215,109
		H23予算	714,065	157,254	78,626	192,433	285,752

89	年度途中入所の推進	担当課	保育課				
事業内容	育児休業の終了に伴う入所希望等に対応するため、中途入所を行うとともに、定員超過入所を行い柔軟な受入れに努めます。						
計画目標	継続実施						
H22 取組 結果	継続実施	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23予算	0	0	0	0	0

90	(再) 一時預かり事業	担当課	保育課					
事業内容	勤務形態の変化や保護者の傷病、育児に伴う心理的・肉体的負担を解消するために、保育所での一時預かりを行います。 ・非定型的保育サービス（週3日を限度） ・緊急保育サービス ・私的理由による保育サービス							
計画目標	継続実施 公立2園 民間6園							
H22 取組結果	(取組状況) ・継続実施 公立1園 民間6園	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業内容	継続実施 公立1園 民間6園	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	5,580	2,790	0	0	2,790	○
		H23予算	7,830	3,915	0	0	3,915	

91	保育時間の延長（長時間保育・延長保育）	担当課	保育課					
事業内容	長時間保育（8時間を超え11時間まで）及び延長保育（11時間を超えて保育）の実施							
計画目標	継続実施							
H22 取組結果	公立4園・民間7園	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業内容	公立4園・民間7園	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	40,900	0	27,266	0	13,634	○
		H23予算	42,800	0	28,248	0	14,552	

92	産休明け保育事業	担当課	保育課					
事業内容	就労先の状況などにより育児休業が取りにくい家庭のために、産後8週間を経過した児童の保育を行います。							
計画目標	継続実施 民間3園							
H22 取組結果	継続実施 民間3園	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業内容	継続実施 民間4園	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23予算	0	0	0	0	0	

93	乳幼児保育推進助成	担当課	保育課					
事業内容	増加している低年齢児の入所希望に対応するため、民間保育所の乳児保育にかかる費用を助成します。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	継続実施 民間 6 園	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	3,600	0	0	0	3,600	
		H23予算	3,600	0	0	0	3,600	

94	(再) 障害児保育事業	担当課	保育課					
事業内容	保育士の適正な配置や研修など、保育所における障害児の受入れ体制の充実に努め、障害児保育の一層の促進を図ります。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	・民間4園・5人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	対象8人	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,236	0	0	0	1,236	○
		H23予算	5,621	0	0	0	5,621	

95	病後児保育事業	担当課	保育課					
事業内容	病気回復期にあり、集団での保育ができない児童の保育を行います。							
計画目標	病児対応型 1施設							
H22取組結果	(取組状況) ・伊勢原協同病院へ委託して継続実施 ・定員 4人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	病後児対応型 1施設	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	10,122	0	2,800	0	7,322	○
		H23予算	10,078	0	2,800	0	7,278	

96	駅前保育事業の検討	担当課	保育課						
事業内容	交通の便の良い駅前での保育サービスを実施します。								
計画目標	継続実施 認定保育施設 1施設								
H22取組結果	(取組状況) ・駅前での保育を行なう認定保育施設 1箇所	事業評価	B・Cの理由						
H23事業内容	継続実施 認定保育施設 1施設	A	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要施策		
			年度	総事業費	事業費内訳				
					国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
			H22決算	0	0	0		0	0
			H23予算	0	0	0		0	0

97	(再)放課後児童健全育成事業(児童コミュニティクラブ事業)	担当課	子育て支援課						
事業内容	放課後、保護者が就労や病気などで児童の世話をすることができない家庭を対象に、児童が安全に自由に生活できる場として「児童コミュニティクラブ」を開設し、遊びを通じた生活指導を行います。								
計画目標	・市内全小学校区(10校)で実施 ・計14クラブ 定員 720人 入所児童数 720人 ・開所時間の延長								
H22取組結果	放課後、保護者が就労や病気などで児童の世話をすることができない家庭を対象に、児童が安全に自由に生活できる場として「児童コミュニティクラブ」を開設し、遊びを通じた生活指導を行った。 ・市内全小学校区(10校)で実施した。 ・計13クラブ 定員720人 平均入所児童数 677人 ・感染症対策として安心子ども交付金を全13クラブに空気清浄機の設置を行った。	事業評価	B・Cの理由						
H23事業内容	・継続実施 ・事業を委託する民間事業所の開拓	A	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要施策		
			年度	総事業費	事業費内訳				
					国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
			H22決算	101,184	0	30,088		28,759	42,337
			H23予算	98,755	0	38,706		27,907	32,142

98	児童コミュニティクラブでの障害児受入	担当課	子育て支援課						
事業内容	入所を希望し、入所要件を満たすすべての障害児が児童コミュニティに入所できるよう、地域と協力しながら各クラブの受入体制を整備します。								
計画目標	14クラブ 各1人								
H22取組結果	入所を希望し、入所要件を満たすすべての障害児が児童コミュニティに入所できるよう、地域と協力しながら各クラブの受入体制を整備を進めた。	事業評価	B・Cの理由						
H23事業内容	継続実施	A	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要施策		
			年度	総事業費	事業費内訳				
					国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
			H22決算	0	0	0		0	0
			H23予算	0	0	0		0	0

99	休日保育の実施検討	担当課	保育課					
事業内容	保護者の就労形態の多様化に対応するため、休日における保育の実施を検討し、児童福祉の向上及び保護者の仕事と子育ての両立支援を目指します。							
計画目標	実施施設 2 施設							
H22 取組結果	(取組状況) ・駅前で休日保育を実施する認定保育施設に対し運営補助を実施	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業内容	・実施施設 1 施設 ・夏期電力需給対策に伴う休日保育特別事業 実施施設 1 施設	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23予算	975	0	350		0	625

100	(再)家庭的保育等事業	担当課	保育課					
事業内容	保護者の就労や出産、疾病、介護などの理由で、家庭で保育することができないと認められる児童を、市が認定した家庭的保育者の居宅に整備された保育室において保育します。							
計画目標	家庭的保育者登録 2 人							
H22 取組結果	(取組状況) ・国制度に準じた事業実施に係る研究と家庭的保育者制度の研究	事業評価	B・Cの理由					
		C	実施に至っていないため					
H23 事業内容	・国制度に準じた事業実施に係る研究と家庭的保育者制度の研究	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23予算	0	0	0		0	0

101	私設保育施設（認可外保育施設）による保育等	担当課	保育課					
事業内容	・認定保育施設 ・届出保育施設 ・その他保育施設（事業所内保育など）							
計画目標	・継続実施 ・認定保育施設 1 施設 ・届出保育施設 2 施設 ・院内保育施設 2 施設							
H22 取組結果	(取組状況) ・継続実施 ・認定保育施設 1 施設 ・届出保育施設 2 施設 ・院内保育施設 2 施設	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業内容	・認定保育施設 ・届出保育施設 ・その他保育施設（事業所内保育など）	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	9,328	0	3,108		0	6,220
		H23予算	10,541	0	3,512		0	7,029

102	私設保育施設（認可外保育施設）による保育等（院内保育）	担当課	健康管理課				
事業内容	・院内保育						
計画目標	院内保育事業を実施する市内の医療機関に対して継続して補助金を交付						
H22 取組 結果	院内保育事業を実施する市内の医療機関に対して補助金を交付	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	院内保育事業を実施する市内の医療機関に対して補助金を交付	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	8,610	0	0	0	8,610
		H23予算	8,610	0	0	0	8,610

103	私設保育施設（認可外保育施設）による保育等（幼稚園の預かり保育）	担当課	学校教育課				
事業内容	・幼稚園の預かり保育						
計画目標	継続実施						
H22 取組 結果	市内の私立幼稚園10園で、早朝保育（おおむね午前8時から）と預かり保育（おおむね午後6時まで）を実施しています。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	市内私立幼稚園10園において、早朝保育・預かり保育を実施していきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23予算	0	0	0	0	0

104	(再) ファミリー・サポート・センター事業	担当課	子育て支援課				
事業内容	児童の健やかな成長や子育て中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と支援を行いたい人（支援会員）からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。						
計画目標	・設置箇所数 1箇所 ・会員総数 1,180人						
H22 取組 結果	(執行実績) ・設置箇所数：1箇所 ・会員総数：804人 内訳 ・依頼会員：569人 ・支援会員：197人 ・両方会員：38人 ・延べ活動回数：2,196回	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	児童の健やかな成長や子育ての中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と支援を行いたい人（支援会員）からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	4,656	2,375	0	0	2,281
		H23予算	4,825	2,412	0	0	2,413

105	男女共同参画推進事業の促進	担当課	人権・男女共同参画推進室				
事業内容	男女共同参画社会の実現に向けて、普及啓発活動を推進します。 ・ききょうフォーラムの運営 ・いせはら男女共同参画フォーラムの開催 ・ききょうフォーラム通信の作成・発行 ・男女共同参画講座の開催 ・男女共同参画に関する情報提供、啓発誌等の作成発行						
計画目標	・いせはら男女共同参画フォーラムの開催参加人数 400人 ・ききょうフォーラム通信の発行 年2回						
H22 取組 結果	男女共同参画社会の実現に向けて、普及啓発活動を推進しました。 ・伊勢原市男女共同参画推進委員会の運営（ききょうフォーラムの名称変更） 全体会4回、企画部会4回、編集部会3回、計画調整会議2回開催 ・いせはら男女共同参画フォーラムの開催 平成23年3月5日（土）「～ありがとういつも感謝と思ひやり～落語の世界の女（ひと）と男（ひと）」 講師 林家 うん平氏 参加人数240人 ・ききょうフォーラム通信の作成・発行 31号「男女共同参画フォーラムの報告他」 32号「いせはらで活躍する方を紹介他」 ・男女共同参画講座の開催 「ワークライフバランス」、「アサーティブトレーニング」、「起業セミナー」、「メディアリテラシー」の4講座を実施 延べ参加人数 121人 ・男女共同参画に関する情報提供、啓発誌等の作成発行 地域編の作成	事業評価	B・Cの理由				
		B	予定した各事業については計画どおり実施されたが、フォーラム及び講座の参加人数が目標に達成しなかった。 より多くの方に参加していただけるよう、工夫する必要があるため。				
H23 事業 内容	男女共同参画社会の実現に向けて、普及啓発活動を推進します。 ・伊勢原市男女共同参画推進委員会の運営 ・いせはら男女共同参画フォーラムの開催 ・ききょうフォーラム通信の作成・発行 ・男女共同参画講座の開催 ・男女共同参画に関する情報提供、啓発誌等の作成発行	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	550	0	0	0	550
		H23予算	542	0	0	0	542

106	関係機関との連携・市内事業者等に対する普及啓発活動の実施	担当課	子育て支援課				
事業内容	国や県等の関係機関等との連携・ネットワーク形成を図りながら、働き方の見直しと多様な働き方の実現に向けて、市内事業者に対して普及啓発を行います。あわせて、仕事と育児が両立できるような様々な制度を持ち、多様で柔軟な働き方を労働者が選択できるような取組を行う企業（ファミリー・フレンドリー企業）の普及促進を行っていきます。						
計画目標	継続実施						
H22 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業主及び一般者を対象にワークライフバランスに関する講演会を開催。 ・主催：伊勢原市（子育て支援課） ・協力：伊勢原市雇用促進協議会（事務局：商工観光振興課） ・演目：「イクメンが増えれば社会が変わる～仕事と育児のハッピーバランス～」 ・講師：NPO法人ファザーリング・ジャパン 代表理事 安藤 哲也氏 ・参加：12団体19人 	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業主及び一般者を対象にワークライフバランスに関する講演会を開催する。 ・主催：伊勢原市（子育て支援課） ・協力：伊勢原市雇用促進協議会（事務局：商工観光振興課） 	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	30	0	0	0	30
		H23予算	30	0	0	0	30

106	関係機関との連携・市内事業者等に対する普及啓発活動の実施	担当課	商工観光振興課				
事業内容	国や県等の関係機関等との連携・ネットワーク形成を図りながら、働き方の見直しと多様な働き方の実現に向けて、市内事業者に対して普及啓発を行います。あわせて、仕事と育児が両立できるような様々な制度を持ち、多様で柔軟な働き方を労働者が選択できるような取組を行う企業（ファミリー・フレンドリー企業）の普及促進を行っていきます。						
計画目標	継続実施						
H22 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業主及び一般者を対象にワークライフバランスに関する講演会を開催。 ・主催：伊勢原市（子育て支援課） ・協力：伊勢原市雇用促進協議会（事務局：商工観光振興課） ・演目：「イクメンが増えれば社会が変わる～仕事と育児のハッピーバランス～」 ・講師：NPO法人ファザーリング・ジャパン 代表理事 安藤 哲也氏 ・参加：12団体19人 	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業主及び一般者を対象にワークライフバランスに関する講演会を開催する。 ・主催：伊勢原市（子育て支援課） ・協力：伊勢原市雇用促進協議会（事務局：商工観光振興課） 	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23予算	0	0	0	0	0

107	再就職への支援策の検討	担当課	商工観光振興課				
事業内容	出産等により退職し、その後復職を希望する人に対する就業支援策を検討します。 ・就業を促進するための民間事業者に対する協力要請・普及啓発 ・職業能力開発のための講座 ・教習会等の充実など						
計画目標	・地域職業相談室において就業相談・紹介等を実施 ・就業相談件数 10,000件 ・紹介件数 2,712件						
H22 取組 結果	・伊勢原市ふるさとハローワークにおいて就業相談・紹介等を実施 ・就業相談件数 15,909件 ・紹介件数 5,492件	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	・伊勢原市ふるさとハローワークにおいて就業相談・紹介等を実施する。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	4,803	0	0	0	4,803
		H23予算	4,798	0	0	0	4,798

3-③子育ての悩み解消のための支援

<施策の対応方針>

○育児支援や子育ての仲間づくりなど、子育てに関する情報を分かり易く一元的に提供していきます。

○子育てや生活、就労などの様々な相談に対応していきます。

○児童虐待防止に関して、発生予防の段階から、早期発見、早期対応、保護・支援・フォローに至るまでの切

108	(再) 子育て支援センター事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	地域で孤立しがちな母親の子育ての不安やストレス、悩みの解消を図るため、子育て支援センターに子育てアドバイザーを配置し、親子の遊びや息抜き、情報交換、仲間づくりの場を提供します。 また、乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感を持ち、問題解決の糸口となる場として、「つどいの広場」を展開します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・支援センター 1箇所 ・「子育てひろば」 6箇所 ・「つどいの広場」 4箇所 							
H22 取組 結果	(執行実績)	事業評価	B・Cの理由					
	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースペース 開催日数：243日 参加者数：延べ14,110人 ・育児相談件数 延べ：1,917件 ・つどいの広場 実施箇所数：1カ所 開催日数：130日 参加者数：延べ5,347人 ・子育てひろば 開催日数：190日 参加者数：延べ5,242人 うち「赤ちゃんひろば」 1箇所（フリースペース内） 「赤ちゃんとこれからママのつどい」 1箇所（つどいの広場内） 	A						
H23 事業 内容	地域で孤立しがちな母親の子育ての不安やストレス、悩みの解消を図るため、子育て支援センターに子育てアドバイザーを配置し、親子の遊びや息抜き、情報交換、仲間づくりの場を提供します。 また、乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感を持ち、問題解決の糸口となる場として、「つどいの広場」を展開します。	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	8,289	4,276	0		0	4,013
		H23予算	8,956	4,478	0		0	4,478

109	(再) 地域育児センター事業	担当課	保育課					
事業内容	保育所の専門的機能を活用し、地域における子育てのニーズにきめ細やかに対応するため、各認可保育所において様々な子育て支援事業を実施します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 							
H22 取組 結果	(取組状況)	事業評価	B・Cの理由					
	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育所 (4園) ・世代間交流事業 述べ 120回 ・育児相談 述べ 229件 ・園庭開放 述べ 452人 民間保育所 (7園) ・世代間交流事業 延べ 76回 ・育児相談 述べ 891件 ・園庭開放 述べ 1,157人 	A						
H23 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23予算	0	0	0		0	0

110	子育てサロン	担当課	社会福祉協議会					
事業内容	地区の主任児童委員・民生委員・児童委員や民間保育所と協力し、親子の自由な遊び場や保護者同士の交流の場として、「子育てサロン」を開催します。							
計画目標	実施回数 12回 参加者数 大人 250人、子ども250人							
H22取組結果	実施回数12回 参加者数 大人160人 子ども184人 (うちH22度新規59人)	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	継続実施 財源は社会福祉協議会自主財源(会費)を活用	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	18	0	0	18		0
		H23予算	25	0	0	25		0

111	(再)療育相談	担当課	子育て支援課						
事業内容	専門相談員が、心身の発達に遅れや心配のある乳幼児等に関する相談に応じ、具体的な支援を行います。								
計画目標	相談支援件数 2,200件								
H22取組結果	(執行実績) ・相談支援件数：1,682件	事業評価	B・Cの理由						
		A							
H23事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳					
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源	
		H22決算	10,106	0	0	0		10,106	○
		H23予算	10,790	0	0	0		10,790	○

112	新ママセミナー	担当課	社会教育課					
事業内容	日ごろの子育ての悩みを解消するとともに、仲間づくりを推進します。							
計画目標	実施回数 1講座3回							
H22取組結果	7ヶ月～1歳児の子を持つ親を対象に、1講座(全3回)を実施した(伊勢原南公民館)。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	日ごろの子育ての悩みを解消するとともに、仲間づくりを推進します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	30	0	0	0		30
		H23予算	52	0	0	0		52

113	家庭児童相談	担当課	子育て支援課					
事業内容	家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、家庭及び児童の福祉に関する相談に応じ、必要な調査や助言、指導を行います。							
計画目標	相談支援件数 4,000件							
H22 取組 結果	(執行実績) ・相談支援件数：1,775件	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,979	0	0	130	1,849	○
		H23予算	2,053	0	0	0	2,053	○

114	母子父子福祉相談	担当課	子育て支援課					
事業内容	母子や父子、寡婦家庭の生活一般、児童、生活援助などに関し、子育て支援課内で母子自立支援員が相談に応じます。また、市内認可保育所においても、母子自立相談員(園長)による同様のサービスを行います。							
計画目標	継続実施							
H22 取組 結果	延べ相談件数 1,215件	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	3,351	0	0	0	3,351	
		H23予算	3,435	0	0	0	3,435	

115	子育て相談窓口の一元化の推進	担当課	子育て支援課					
事業内容	関係機関との連携により、子育て支援にかかわる窓口の一元化を推進します。							
計画目標	子育て相談窓口の体制強化							
H22 取組 結果	児童相談センターの運営	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	継続実施 児童相談センターの運営(家庭児童相談、療育相談、児童虐待防止等事業の実施)	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0	○
		H23予算	0	0	0	0	0	○

116	子育て支援総合コーディネーター事業	担当課	子育て支援課				
事業内容	「子育て支援総合コーディネーター」を配置し、地域における多様な子育てサービス情報を一元的に把握するとともに、収集した情報をデータベース化し、インターネット等を活用したサービス利用者への情報提供、ケースマネジメント及び利用支援などのサービスを提供します。						
計画目標	子育て支援センターに専任コーディネーターを1名配置						
H22 取組結果	(執行実績) ・子育てマップなどの作成・配布 ・支援に関する様々な情報の蓄積及び発信	事業評価	B・Cの理由				
		B	情報提供はできているものの、専任のコーディネーターが未配置であることと、データベース化による情報管理とインターネットの活用が不十分であるため。				
H23 事業内容	「子育て支援総合コーディネーター」を配置し、地域における多様な子育てサービス情報を一元的に把握するとともに、収集した情報をデータベース化し、インターネット等を活用したサービス利用者への情報提供、ケースマネジメント及び利用支援などのサービスを提供します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	161	0	0	0	161
		H23予算	172	0	0	0	172

117	(再)健康カレンダーの配布	担当課	健康管理課				
事業内容	健康診査、予防接種等の日程等を掲載した「健康カレンダー」を新聞に折り込み全戸配布します。						
計画目標	・継続実施 ・年間43,000冊						
H22 取組結果	全世帯に対し、新聞折込及び市役所窓口、各公民館等にて配布。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業内容	全世帯に対し、新聞折込及び市役所窓口、各公民館等にて配布。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	406	0	0	0	406
		H23予算	516	0	0	0	516

118	児童虐待防止等事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	保護者のない児童又は保護者に監護させることが不相当であると認められる児童の適切な保護を図るとともに関係機関との連携に努め児童虐待防止に取り組みます。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢原市要保護児童対策地域協議会の運営 ・代表者会議開催 1回 ・実務担当者会議開催 2回 ・全ケース把握会議開催 12回 ・ケース検討会議開催 120回 ・研修会開催 2回 							
H22取組結果	(執行実績) 伊勢原市要保護児童対策地域協議会の運営	事業評価	B・Cの理由					
	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議 2回開催 ・実務担当者会議 2回開催 ・全ケース把握会議 12回開催 ・研修会 2回開催 ・キャンペーン活動 1回開催 ・出前講座 17回 	A						
H23事業内容	継続実施：伊勢原市要保護児童対策地域協議会の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議 2回開催 ・実務担当者会議 2回開催 ・全ケース把握会議 12回開催 ・研修会 2回開催 ・キャンペーン活動 1回開催 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	194	125	0	0	69	○
		H23予算	862	125	600	0	137	○

119	子ども虐待防止電話相談	担当課	子育て支援課					
事業内容	NPO法人「子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク」に委託し、電話による相談事業を行います。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	(執行実績) NPO法人「子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク」に電話相談事業を委託実施。	事業評価	B・Cの理由					
	・委託実績：週2回開設実績の中の月2回分	A						
H23事業内容	継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人「子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク」に電話相談事業を委託実施。 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	468	0	0	0	468	○
		H23予算	468	0	0	0	468	○

3-④経済的負担の軽減

<施策の対応方針>

- 子どもの医療費の支援に努めます。
- 保育料等の現額や助成などの支援に努めます。
- 障害のある子どものいる家庭への経済的支援に努めます。
- ひとり親家庭への、充実した経済支援に努めていきます。
- 子育てにかかる望ましい住環境が提供できるよう、市営・県営住宅等の情報提供に努めます。

120	子ども手当支給	担当課	子育て支援課				
事業内容	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを、社会全体で応援することを目的として、中学校修了までの子どもを対象として、親等に子ども手当を支給します。						
計画目標	「児童手当」から「子ども手当」へ移行（新規）						
H22取組結果	「児童手当」から「子ども手当」へ移行され、受給者に対し子ども1人につき月額13,000円支給している。（延べ児童数55,584人）	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	平成23年度「子ども手当」として継続実施 3歳未満の子ども1人につき、月額7,000円を加算し月額20,000円を支給（H23.4～）	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	1,757,366	1,379,426	188,951	0	188,989
		H23予算	2,270,394	2,195,308	37,542	0	37,544

121	多子世帯保育料の軽減	担当課	保育課				
事業内容	保育料にかかる保護者の負担を軽減するため、同一世帯で2人以上の子どもが認可保育所に入所する場合、保育料の階層に応じて保育料を減額します。						
計画目標	継続実施						
H22取組結果	(取組状況) ・3人入所の場合の3人目無料化	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23予算	0	0	0	0	0

122	要保護及び準要保護児童生徒援助	担当課	学校教育課					
事業内容	経済的な理由で小・中学校への就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品費や給食費などの一部を助成します。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費等必要な経費の一部について援助を行いました。	事業評価	B・Cの理由					
H23事業内容	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費等必要な経費の一部について援助を行っていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	47,497	494	0	0	47,003	
		H23予算	51,547	489	0	0	51,058	

123	小児医療費助成事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	0歳から中学校卒業までの子どもの入院や通院に係る医療費の一部を助成し、家庭における子育て費用の負担の軽減を図ります。							
計画目標	通院対象年齢の拡大							
H22取組結果	0～6歳児（所得制限なし）の通院・入院について221,045,758円(117,755件)、7歳児～中学生（所得制限あり）の入院について4,700,396円(88件)の助成を行った。	事業評価	B・Cの理由					
H23事業内容	平成23年10月より、通院年齢を小学3年生修了まで拡大	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	232,530	0	57,928	0	174,602	
		H23予算	259,806	0	54,070	0	205,736	

124	出産一時金の支給	担当課	保険年金課					
事業内容	国民健康保険の被保険者が出産した場合、出産一時金が支給されます。 ・支給単価 42万円							
計画目標	支給単価の拡大							
H22取組結果	・支給対象者 124人	事業評価	B・Cの理由					
H23事業内容	・支給対象者見込 123人	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	52,302	2,800	0	0	49,502	
		H23予算	51,660	1,230	0	0	50,430	

125	(再) 幼稚園就園児補助	担当課	学校教育課					
事業内容	保護者の経済的負担の軽減と幼児教育の振興を図るため、市内在住の子どもが市内・市外の私立幼稚園に就園する場合に、入園料等の一部を助成します。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	私立幼稚園に就園させている保護者に対し、保育料等の一部を補助しました。 (対象) 1,708人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	私立幼稚園に就園させている保護者に対し、保育料等の一部を補助していきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	11,193	0	0	0	11,193	
		H23予算	11,200	0	0	0	11,200	

126	ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	ひとり親家庭の家族が病気等で受診したときの医療費の一部を助成し、その経済的負担の軽減を図ります。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	ひとり親家庭の世帯員に対し、52,981,876円(20,467件)の医療費を助成した。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	51,575	0	24,170	0	27,405	
		H23予算	53,552	0	25,317	0	28,235	

127	ひとり親家庭等入学支度金支給	担当課	子育て支援課					
事業内容	ひとり親家庭の児童が小学校・中学校に入学する際に入学支度金を支給し、経済的負担の軽減を図ります。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	小学校入学10,000円(33人)、中学校入学12,000円(74人)を支給している。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,218	0	0	0	1,218	
		H23予算	1,400	0	0	0	1,400	

128	ひとり親家庭援護事業	担当課	社会福祉協議会					
事業内容	ひとり親家庭の中学校卒業生に対して、祝品を支給します。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	ひとり親家庭の中学校卒業生に対し、祝い品として図書カード1万円を19名に支給しました。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	継続実施 財源は社会福祉協議会自主財源(会費)を活用	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	190	0	0		190	0
		H23予算	500	0	0		500	0

129	児童扶養手当支給	担当課	子育て支援課					
事業内容	母子世帯等の生活の安定を図り自立を促進するため、父と生計を同じくしていない児童を養育する人に手当を支給し、児童福祉の増進を図ります。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	児童一人全部支給41,720円、児童二人以上の加算2人目5,000円、3人目以降3,000円。一部支給41,720円から9,850円。受給権者数701人。平成22年8月より父子家庭世帯も対象	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	254,927	84,000	0		0	170,927
		H23予算	259,380	86,230	0		0	173,150

130	母子寡婦福祉資金の貸付制度	担当課	子育て支援課					
事業内容	母子家庭や寡婦の方に低利又は無利子で資金を貸すことにより、その経済的自立や子どもの福祉の増進を図ります。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	県事業(12種類の貸付制度)	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	県事業(12種類の貸付制度)	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23予算	0	0	0		0	0

131	母子家庭自立支援教育訓練給付金事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	母子家庭の自立を促進するため、母子家庭の母親が自立して生計を維持するための教育訓練講座を受講した場合、その受講料の一部を支給します。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	受講料の20%（上限10万円）を支給している。（対象0人）	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23予算	100	75	0		0	25

132	緊急母子貸付金	担当課	子育て支援課					
事業内容	母子寡婦福祉協会に所属している母子家庭に対し、生活費に充てる経費を貸し付けます。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	実績なし	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	県による事業の見直し予定	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23予算	0	0	0		0	0

133	特別児童扶養手当支給	担当課	障害福祉課					
事業内容	政令で定める一定の身体障害・知的障害・精神障害の状態にある児童について、福祉の増進を図ることを目的として手当を支給します。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	・対象者数 141人 (県財源)	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	・対象者数 146人 (県財源)	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	529	203	0		0	326
		H23予算	535	210	0		0	325

134	障害児福祉手当支給	担当課	障害福祉課					
事業内容	身体・知的障害のある在宅の重度障害児に手当を支給します。							
計画目標	継続実施							
H22 取組 結果	・障害児 495人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	7,119	5,339	0		0	1,780
		H23予算	7,025	5,268	0		0	1,757

135	特別支援学校在学者福祉手当支給	担当課	障害福祉課					
事業内容	特別支援学校に在学している障害者に対して、手当を支給します。							
計画目標	継続実施							
H22 取組 結果	・対象者数 小学部以下 27人 中学部以上 38人 計 65人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	3,441	0	0		0	3,441
		H23予算	3,441	0	0		0	3,441

136	市営・県営住宅等の情報提供	担当課	建築指導課					
事業内容	家庭内における子育て環境の整備に資するため、市営住宅や県営住宅等の入居について、母子及び父子世帯、多子世帯優遇制度の情報提供を行います。							
計画目標	公営住宅等の入居者募集及び入居優遇制度の情報提供を実施							
H22 取組 結果	市営住宅入居者募集（7月・11月実施） 募集戸数5戸 応募件数 母子・父子 11件 入居件数 母子・父子 3件 県営住宅募集のしおり配付 5月募集 5月14日～6月1日 11月募集 11月15日～12月1日 若年夫婦世帯向募集 11月8日～2月28日	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	市営住宅入居者募集（7月・11月実施） 募集戸数2戸（7月） 応募件数 母子・父子 6件（全11件/7月） 入居件数 母子・父子 1件 県営住宅募集のしおり配付 7月募集 7月15日～8月1日 11月募集	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23予算	0	0	0		0	0

基本目標4 親と子の健康づくりを進めます

施策の目標

- 安心して妊娠・出産ができると感じている保護者の割合を増やします
- 子どもの医療環境に安心感を感じている保護者の割合を増やします

4-①安心して出産し子育てができる環境づくり

<施策の対応方針>

- 訪問・保健指導や相談等を充実し、妊娠期からの切れ目のない継続的な支援を実施します。
- 妊娠期における検診の充実を図ります。
- 父親の育児参加を促進します。
- 不妊に悩む人のために、積極的な情報提供等を進めていきます。

137	母子父子健康手帳の交付	担当課	子育て支援課				
事業内容	妊娠や出産、育児に役立てるとともに、予防接種や成長、発達記録を残し、また父親の育児参加を促進するため、手帳を交付します。						
計画目標	継続実施						
H22 取組 結果	H22年度 987件	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	H23年度見込 1,100件	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	503	0	0	0	503
		H23予算	521	0	0	0	521

138	妊婦健康診査	担当課	子育て支援課				
事業内容	妊婦・乳児の死亡率の低下や早産・死産の防止、心身障害の発生予防のため、医療機関に委託し、妊娠中の健康管理を行います。						
計画目標	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため妊婦健診の公費補助を実施 1人に対し14回						
H22 取組 結果	H22年度 10,493件	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	H23年度見込 10,000件	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	39,147	0	9,142	0	30,005
		H23予算	44,260	0	10,954	0	33,306

139	母親・父親学級／両親教室母親・父親学級フォローアップ教室	担当課	子育て支援課				
事業内容	初妊婦やその夫に、妊娠や分娩、産じょく、育児、栄養に関する知識を習得し、仲間づくりの場を提供します。また、妊娠中や産後の不安軽減のため、フォローアップ教室開催に向けて検討します。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・母親・父親学級 4日間6コースで実施 参加者500人 ・両親教室 年5回実施 参加者200人 						
H22取組結果	H22年度より、母親父親教室3日間平日6コースとし、4日目は、両親教室土曜開催を日程選択性とし、年9回実施。 ・母親・父親教室 参加者数 302人 ・両親教室 参加者数 267人	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・母親・父親学級 3日間平日6コース 4日目は両親教室開催と合同 日程選択性とする。 ・両親教室 土曜日開催 年9回実施 (参加者同士継続的に交流できる内容とする) 	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	343	0	0	0	343
		H23予算	647	0	0	0	647

140	訪問指導（妊産婦・新生児・未熟児・乳幼児）	担当課	子育て支援課				
事業内容	妊産婦や新生児、乳幼児の健康を守るため、保健師や助産師などが訪問し、授乳指導を行い、育児確立のための支援を行います。						
計画目標	要望家庭・随時訪問実施 訪問件数1,000件						
H22取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職新生児訪問 713人 	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	妊娠期から出産、育児に至る継続的な支援体制ができるよう台帳管理を見直す。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	1,810	469	0	0	1,341
		H23予算	3,104	1,552	0	0	1,552

141	(再) 養育支援訪問事業	担当課	子育て支援課				
事業内容	出産後間もない時期の養育者や様々な原因で養育が困難になっている家庭に育児・家事等の援助を行うヘルパーや保健師、保育士等を派遣し、育児支援を行うことにより、養育上の諸問題の解決、軽減を図り、虐待を未然に防止することに繋がります。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・産褥期ヘルパー派遣 8件 延80日 ・専門的家庭訪問 10件 延120日 						
H22取組結果	(執行実績) <ul style="list-style-type: none"> ・産褥期ヘルパー派遣 10件、延83日 ・専門的家庭訪問 6件、延24日 	事業評価	B・Cの理由				
		B	専門的家庭訪問においては、中短期的な支援となっているため、回数が制限されている。				
H23事業内容	継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・産褥期ヘルパー派遣 5件 延50日 ・専門的家庭訪問 10件 延65日 	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	219	169	0	0	50
		H23予算	343	171	0	0	172

142	多胎児教室	担当課	子育て支援課				
事業内容	双子や三つ子等、多胎児の保護者に対して、子育てに関する教室を秦野保健福祉事務所と共催で開催して精神的な負担の軽減及び健康の確保を図ります。						
計画目標	秦野保健所との共催で継続実施（参加者50組）						
H22 取組 結果	H23年度自主活動に向けた取組み支援検討 伊勢原会場 2回開催 13組	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	H23年度伊勢原市独自の取組みとし、支援センターと協働開催 年3回予定	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	
		H23予算	0	0	0	0	

143	母親・父親学級同窓会の開催検討	担当課	子育て支援課				
事業内容	参加者からの要望が高い母親・父親学級同窓会について、開催に向けて検討していきます。						
計画目標	継続実施						
H22 取組 結果	H22年度から母親・父親教室の3日目に子育て支援センター見学と児との交流を実施。当事者同士、出産後も自主的に交流できる機会になった。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	妊娠期から出産、育児に至る当事者同士の自主的な交流が図れるよう、母親・父親教室の内容の見直し、検討していく。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	
		H23予算	0	0	0	0	

144	不妊治療の支援	担当課	子育て支援課				
事業内容	神奈川県不妊治療専門相談センターによる不妊相談や、神奈川県特定不妊治療費助成事業の開始に伴い、市として情報提供に努めていくとともに、今後の支援策を検討します。						
計画目標	継続実施						
H22 取組 結果	H22 不妊症の取組みに関する要望があり、不妊症に加え、不妊症の支援のあり方も含めた検討を実施。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	不妊症、不妊症の支援のあり方検討	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	
		H23予算	0	0	0	0	

4-②親と子の健康の確保

<施策の対応方針>

- 母子保健における各種健康診査、訪問指導、保健指導等を充実します。
- 心身の健康づくり、疾病の早期発見・障害の発生予防など、総合的な母子保健対策を推進します。
- 食を通じた豊かな人間性・家族関係・心身の健全育成を図っていきます。

145	マタニティクッキング	担当課	子育て支援課					
事業内容	妊婦に対し調理実習や栄養教育を通じて食生活の改善を促し、妊婦の健康を確保します。							
計画目標	母親・父親学級1回4日間コースの中の第2日目の教室に実施 参加者100人							
H22 取組 結果	H22年度 見込 86人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	非常勤栄養士を内勤採用。母子保健における栄養部門の一体的な取組み検討	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	460	386	0	62		12
		H23予算	317	0	0	72		245

146	離乳食教室	担当課	健康管理課					
事業内容	離乳食の献立や作り方等の実演および乳歯のむし歯予防等、乳幼児の食や栄養に関する正しい知識を伝え、健康維持増進を図ります。							
計画目標	年間参加者数 500人							
H22 取組 結果	初期(毎月)・中期(隔月)・完了期(隔月)を実施。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	子育て支援課に移管。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	638	319	0	0		319
		H23予算	0	0	0	0		0

146	離乳食教室	担当課	子育て支援課					
事業内容	離乳食の献立や作り方等の実演および乳歯のむし歯予防等、乳幼児の食や栄養に関する正しい知識を伝え、健康維持増進を図ります。							
計画目標	年間参加者数 500人							
H22取組結果	健康管理課で実施。	事業評価	B・Cの理由 平成22年度まで健康管理課で実施。					
H23事業内容	23年度から子育て支援課にて実施。初期は毎月開催、中期・完了期はすくすく健康相談と同時実施予定。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23予算	756	226	0	0	530	

147	(再) 思春期栄養改善事業	担当課	学校教育課					
事業内容	中学生を対象に、児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにするため、中学校での骨密度測定等を実施し、栄養改善を推進します。							
計画目標	骨密度測定と栄養教育を実施 中学校4校各1学年							
H22取組結果	望ましい食習慣を身に付けてもらうため、4中学校の2年生を対象に、骨密度測定を取り入れた栄養指導を行いました。	事業評価	B・Cの理由 A					
H23事業内容	望ましい食習慣を身に付けてもらうため、4中学校の2年生を対象に、骨密度測定を取り入れた栄養指導を行います。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	48	0	0	0	48	
		H23予算	154	0	0	0	154	

148	(再) 思春期食育事業	担当課	健康管理課					
事業内容	高校生を対象に、児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにするため、高等学校での骨密度測定等を実施し、栄養改善を推進します。							
計画目標	骨密度測定、食教育及び食事相談を実施 高等学校2校							
H22取組結果	高等学校1校に骨密度測定、食教育及び食事相談を実施。	事業評価	B・Cの理由 B 高校側が骨量測定の受け入れが難しく、学校数を増やすことが難しかった。					
H23事業内容	高等学校1校に骨密度測定、食教育及び食事相談を実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	219	109	0	0	110	
		H23予算	196	98	0	0	98	

149	健康診査時集団指導	担当課	子育て支援課					
事業内容	健康診査時に、離乳食やおやつとの与え方について集団指導を行います。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	効果的な指導内容等について、各専門職と検討を実施。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	各専門職と効果的な集団指導について検討	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23予算	0	0	0	0		0

150	庁内栄養士連絡調整会議	担当課	健康管理課					
事業内容	栄養士間での情報交換、連絡調整を行い、食育の推進を図ります。							
計画目標	食育推進連絡会議に合わせて、実施							
H22取組結果	食育推進連絡会議に合わせて随時実施	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	食育推進連絡会議に合わせて随時実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23予算	0	0	0	0		0

151	食育推進のための体制づくり（食育推進計画の策定）	担当課	健康管理課					
事業内容	家庭、保育所、学校における計画的な食育の推進を図るため、伊勢原市食育推進計画を策定し、伊勢原市食育推進会議を開催します。							
計画目標	H24年度伊勢原市食育推進計画の策定および食育推進会議の実施							
H22取組結果	年2回の食育推進連絡会議と年2回ずつ3つの部会を開催し話し合いを実施。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	食育推進計画策定委員会（仮）を実施し、食育推進計画を策定予定。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23予算	0	0	0	0		0

152	各種健康診査	担当課	子育て支援課					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4ヶ月児健康診査 ・ 7ヶ月児健康相談 ・ お誕生日前健康診査 ・ 1歳6ヶ月児健康診査 ・ 2歳児歯科健康診査 ・ 3歳児健康診査・経過検診 							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	お誕生日健康診査は医療機関に委託。それ以外は集団健診を月2回実施。1歳6ヶ月児及び2歳児健診における心理相談員2名体制とし、早期発見、介入ができる体制整備	事業評価	B・Cの理由					
H23事業内容	非常勤栄養士を内勤採用。母子保健における栄養部門の一体的な取組み検討、各専門職との連携強化。 2歳児における保健福祉事務所歯科医師撤退。歯科医師会に依頼。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳	重要施策			
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	26,856	0	0	0	26,856	
		H23予算	21,975	0	0	0	21,975	

153	乳幼児精密検査	担当課	子育て支援課					
事業内容	乳幼児健康診査において要精密検査となった対象者の精密検査を医療機関で実施します。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	集団健診における精密検査を医療機関に依頼。健診担当医師と専門医との連携が図れている。	事業評価	B・Cの理由					
H23事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳	重要施策			
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23予算	0	0	0	0	0	

154	健康診査未受診者への指導（家庭訪問）	担当課	子育て支援課					
事業内容	各種乳幼児健康診査未受診者に対し、虐待防止や乳幼児の健全な発達、発育確認のため、保健師が訪問し、受診勧奨を行います。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	健診受診勧奨を通知、TEL、訪問等の手段で実施。必要時、保育園等とも連携をとり、受診勧奨を継続的に実施。	事業評価	B・Cの理由					
H23事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳	重要施策			
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23予算	104	0	0	0	104	

155	育児教室	担当課	子育て支援課
事業内容	1歳6ヶ月児・3歳児健康診査などの経過観察として、親子を対象に集団的な遊びや個別相談を通じて指導や助言を行い、健全な発育や発達を促します。		
計画目標	継続実施		
H22取組結果	養育者支援を含めた親子教室（あいあい）と、児の発達観察を行う2教室（わんわん、だんぼ）を月1～2回実施。	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23事業内容	健診における心理相談員の増により、対象児の早期発見、介入の検討	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	1,003	0 0 0 1,003
	H23予算	2,451	0 0 0 2,451

156	乳幼児健康教育	担当課	子育て支援課
事業内容	乳幼児やその家庭の健康保持・増進を図るため、保健師などが地区の公民館やコミュニティセンターなどに向いて健康知識の普及や実技指導などを行います。		
計画目標	継続実施		
H22取組結果	中央公民館、成瀬公民館等の幼児家庭学級からの依頼及び地区サークル等からの依頼により、実施。	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	0	0 0 0 0
	H23予算	0	0 0 0 0

157	(再)訪問指導(妊産婦・新生児・乳幼児)	担当課	子育て支援課
事業内容	妊産婦や新生児、乳幼児の健康を守るため、保健師や助産師などが訪問し、授乳指導を行い、育児確立のための支援を行います。		
計画目標	要望家庭・随時訪問実施 訪問件数1,000件		
H22取組結果	・専門職新生児訪問 713人	事業評価	B・Cの理由
		A	
H23事業内容	妊娠期から出産、育児に至る継続的な支援体制ができるよう台帳管理を見直す。	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	1,810	469 0 0 1,341
	H23予算	3,104	1,552 0 0 1,552

158	アレルギー教室	担当課	子育て支援課				
事業内容	小児疾患支援対策として、小児アレルギー疾患児又は疑いのある児及びその保護者又は関心のある保護者を対象に、問題や対象別に医師その他の専門職による講演会や保健指導教室を行います。						
計画目標	年2回開催 参加者100人						
H22取組結果	2回実施 11月 23人 1月 26人 計49人 (1月土曜日開催)	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	食育推進とも連携した取組みの強化	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費				
		事業費内訳					
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要施策	
		H22決算	71	0	0	0	71
		H23予算	94	47	0	0	47

159	アレルギー相談会	担当課	子育て支援課			
事業内容	小児疾患支援対策として、小児アレルギー疾患児又は疑いのある児及びその保護者に対し、生活上の問題点について、専門医師その他専門職による個別相談を行います。					
計画目標	継続実施					
H22取組結果	アレルギー教室時同時開催	事業評価	B・Cの理由			
		A				
H23事業内容	同上	予算額・財源内訳(単位：千円)				
		年度	総事業費			
		事業費内訳				
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要施策
		H22決算	0	0	0	0
		H23予算	0	0	0	0

160	アレルギー職員研修会	担当課	子育て支援課				
事業内容	指導・相談体制の充実を図るため、市内の施設に勤務する保健師・助産師・看護師・養護教諭・保育士・歯科衛生士・栄養士等を対象に、小児疾患に対する正しい知識の普及や緊急時の対処等についての研修を行います。						
計画目標	継続実施						
H22取組結果	アレルギーに限らず、母子保健事業における専門職同士の事業評価、各専門分野の情報共有を図る。年3回実施(医師会、歯科医師会、その他専門職)	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	継続実施 職員研修の強化	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費				
		事業費内訳					
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	重要施策	
		H22決算	33	0	0	0	33
		H23予算	73	0	0	0	73

161	育児・栄養電話相談	担当課	子育て支援課				
事業内容	保健師や栄養士が、健康や育児、栄養に関する電話相談を受け付けます。						
計画目標	継続実施						
H22 取組 結果	助産師、保健師による電話相談 1075件	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	非常勤内勤栄養士採用により強化	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	
		H23予算	0	0	0	0	

162	乳幼児健康電話相談	担当課	子育て支援課				
事業内容	保健師等により、乳幼児の育児等に関する電話相談を実施します。						
計画目標	継続実施						
H22 取組 結果	同上	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	同上	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	
		H23予算	0	0	0	0	

163	乳幼児健康相談（すくすく健康相談）	担当課	子育て支援課				
事業内容	乳幼児の健全な成長や発達を促すため、地区公民館などにおいて、身長・体重計測、健康相談などを行います。						
計画目標	継続実施						
H22 取組 結果	7会場実施 51回開催 参加者数 2466人	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	健康管理課より離乳食事業移管。効果的な事業運営を検討し、すくすく健康相談の内容充実を図る。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	2,505	62	0	0	2,443
		H23予算	3,037	2,400	0	0	637

164	(再)療育相談	担当課	子育て支援課					
事業内容	専門相談員が、心身の発達に遅れや心配のある乳幼児等に関する相談に応じ、具体的な支援を行います。							
計画目標	相談支援件数 2, 200件							
H22 取組 結果	(執行実績) ・相談支援件数：1, 682件	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	10,106	0	0	0	10,106	○
		H23予算	10,790	0	0	0	10,790	○

165	各種予防接種	担当課	健康管理課					
事業内容	感染症の予防と重篤化防止のため、法で定められた予防接種を委託医療機関等で実施します。							
計画目標	継続実施							
H22 取組 結果	委託医療機関等にて実施	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	委託医療機関等にて実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	173,700	0	8,857	0	164,843	
		H23予算	199,646	0	30,562	0	169,084	

166	SIDS予防対策	担当課	子育て支援課					
事業内容	乳幼児期に起こる乳幼児突然死症候群(SIDS)予防のためのPR等を行います。							
計画目標	継続実施							
H22 取組 結果	国県と連携したPRの実施	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	国県と連携したPRの実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23予算	0	0	0	0	0	

167	健康カレンダーの配布	担当課	健康管理課																																														
事業内容	健康診査、予防接種等の日程等を掲載した「健康カレンダー」を新聞に折り込み全戸配布します。																																																
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 ・年間43,000冊 																																																
H22 取組 結果	全世帯に対し、新聞折込及び市役所窓口、各公民館等にて配布。	事業評価	B・Cの理由																																														
		A																																															
H23 事業 内容	全世帯に対し、新聞折込及び市役所窓口、各公民館等にて配布。	予算額・財源内訳(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要 施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>406</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>406</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23予算</td> <td>516</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>516</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	406	0	0	0	406		H23予算	516	0	0	0	516																						
年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	406	0	0	0	406																																												
H23予算	516	0	0	0	516																																												

168	乳児訪問の充実（こんにちは赤ちゃん訪問）	担当課	子育て支援課																																														
事業内容	生後4ヶ月までの乳児のいる家庭を児童委員や子育てサポーター等が訪問し、様々な不安や悩みを聞き、家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、「乳児のいる家庭の孤立化」を 방지、健全な育成環境を図ります。																																																
計画目標	継続実施																																																
H22 取組 結果	民生委員、子育てサポーターによる訪問数 327人 地区ごとの協力者との情報交換、協力団体との連携	事業評価	B・Cの理由																																														
		A																																															
H23 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要 施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>1,829</td> <td>1,700</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>129</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23予算</td> <td>2,990</td> <td>1,495</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,495</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	1,829	1,700	0	0	129		H23予算	2,990	1,495	0	0	1,495																						
年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	1,829	1,700	0	0	129																																												
H23予算	2,990	1,495	0	0	1,495																																												

4-③小児医療の充実

<施策の対応方針>

- 一次・二次・三次の救急小児科医療体制の体制強化を図るため、関係医療機関の協力を得て、小児科医の確保定着を図っていきます。
- 小児医療費助成の充実を図っていきます。
- ひとり親家庭の医療費にかかる経済的負担の軽減を図ります。
- 適正な医療体制を確保するため、かかりつけ医の普及に努めます。

169	二次救急小児科医療体制の整備	担当課	健康管理課					
事業内容	休日夜間における入院・手術の必要な小児の二次救急患者に対し、関係医療機関の協力を得て、適切な医療の供給を図ります。							
計画目標	秦野赤十字病院と伊勢原協同病院の輪番制で100%実施							
H22取組結果	秦野赤十字病院と伊勢原協同病院の輪番制で100%実施	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	秦野赤十字病院と伊勢原協同病院の輪番制で100%実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	16,304	0	0	10,074	6,230	
		H23予算	16,508	0	0	10,140	6,368	

170	(再)小児医療費助成事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	0歳から中学校卒業までの子どもの入院や通院に係る医療費の一部を助成し、家庭における子育て費用の負担の軽減を図ります。							
計画目標	通院対象年齢の拡大							
H22取組結果	0～6歳児(所得制限なし)の通院・入院について221,045,758円(117,755件)、7歳児～中学生(所得制限あり)の入院について4,700,396円(88件)の助成を行った。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	平成23年10月より、通院年齢を小学3年生終了まで拡大	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	232,530	0	57,928	0	174,602	
		H23予算	259,806	0	54,070	0	205,736	

171	(再)ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	ひとり親家庭の家族が病気等で受診したときの医療費の一部を助成し、その経済的負担の軽減を図ります。							
計画目標	継続実施							
H22取組結果	ひとり親家庭の世帯員に対し、52,981,876円(20,467件)の医療費を助成した。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	51,575	0	24,170	0	27,405	
		H23予算	53,552	0	25,317	0	28,235	

基本目標5 子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりを推進します

施策の目標

- 子どもにとって安全なまちであると感じる保護者の割合を増やします
- 妊婦や親子にとってやさしいまちであると感じる保護者の割合を増やします

5-①親子が安心して集える場の確保

<施策の対応方針>

- 都市交園等における遊具等の維持管理、周囲からの見通しの確保、高低差の解消など、既存施設の充実に努めます。
- 市民ニーズにあった使いやすい公園の整備について、市民と一体となって進めていきます。
- 身近な生活環境において、防災機能など都市公園に求められる多くの役割を十分に果たせるよう、整備計画等を策定し、計画的に施設整備を進めていきます。

172	市民参加の公園づくり	担当課	公園緑地課					
事業内容	市民ニーズに対応した公園づくりを進めるため、ワークショップ方式による市民参加型の公園づくり及び一部管理を推進します。							
計画目標	公園愛護会の拡大、平成22年度下原公園をワークショップによるリニューアルを検討							
H22 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> 公園愛護会の活動推進 下原公園のワークショップの実施 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> 公園愛護会の活動推進 	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	2,204	0	0		1,100	1,104
		H23予算	650	0	0		0	650

173	運動公園整備事業	担当課	公園緑地課					
事業内容	市民ニーズを踏まえ、総合運動公園の広場等について、改修整備計画を策定し、計画的な整備を推進します。							
計画目標	総合運動公園の広場等の改修整備について計画策定を検討							
H22 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> 総合運動公園内施設の修繕箇所調査 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> 総合運動公園内施設の修繕箇所調査 	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23予算	0	0	0		0	0

174	防災公園整備事業	担当課	公園緑地課				
事業内容	防災機能を備えた公園設備を推進するため、防災公園整備計画を策定し、計画に基づく施設整備を進めます。						
計画目標	平成23年度に防災公園整備計画を策定し、以後計画に基づき事業実施						
H22 取組 結果	・防災公園整備計画に向けての検討	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	・防災公園整備計画策定委託	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23予算	3,780	0	0	0	3,780

175	青少年広場及び児童遊園の維持管理	担当課	青少年課				
事業内容	健全な児童の遊びや活動の場として、維持管理を行います。						
計画目標	地域における青少年の健全育成を推進するため、維持管理を継続実施						
H22 取組 結果	継続実施	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	地域における青少年の健全育成を推進するため、維持管理の継続実施を行います。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	8,233	0	0	0	8,233
		H23予算	8,307	0	0	0	8,307

176	児童遊園、遊具の修繕助成	担当課	社会福祉協議会				
事業内容	自治会や子ども会などで管理する児童遊園に対し、遊具などの修繕を行います。						
計画目標	継続実施						
H22 取組 結果	修繕等 6地区21件	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	継続実施 財源は社会福祉協議会自主財源(会費)を活用	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	943	0	0	943	0
		H23予算	1,504	0	0	1,504	0

5-②子どもの安全の確保

<施策の対応方針>

- 道路や公園、公共交通機関、公共建築物等において、段差の解消、旅客施設等の改善を進めます。
- バリアフリーの徹底やユニバーサルデザインの考え方を取り入れたまちづくりを推進し、安全で快適な生活環境を整備します。
- 警察、関係機関・団体等との連携を強化し、パトロール活動等を行い、犯罪防止活動に取り組んでいきます。
- 交通安全教育を推進し、交通安全の普及啓発活動や総合的な交通事故防止対策などを積極的に展開していき

177	交通バリアフリー法に基づく特定事業等の推進	担当課	都市総務課				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業者による駅のバリアフリー化、バス事業者による車両等のバリアフリー化 ・伊勢原駅、愛甲石田駅を中心とした重点整備地区における特定経路を構成する道路のバリアフリー化など 						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢原市交通バリアフリー基本構想の推進に係る連絡会議の開催各事業者から進捗状況を確認し、事業実施状況の報告を受け、特定経路について、平成22年度までの完成について確認 ・引き続き準特定経路等の進捗状況の確認 						
H22 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢原市交通バリアフリー基本構想の推進について開催各事業者から進捗状況を確認し、事業実施状況の確認 	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢原市交通バリアフリー基本構想の推進について各事業者から進捗状況を確認し、計画に基づく、事業の実施状況の検証を行う。 	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	4	0	0	0	4
		H23予算	4	0	0	0	4

178	交通バリアフリー法に基づく特定事業等の推進	担当課	道路整備課					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢原駅、愛甲石田駅を中心とした重点整備地区における特定経路を構成する市道のバリアフリー化など 							
計画目標	特定経路のうち市道の交通バリアフリー化完了(特定経路のバリアフリー化延長L=1,490m)準特定経路の交通バリアフリー化着手							
H22 取組 結果	(執行実績) <ul style="list-style-type: none"> ・市道315号線歩道改良工事 L=170m 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H23 事業 内容	無し(事業完了)	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	14,144	5,750	0	5,300	3,094	○
		H23予算	0	0	0	0	0	

179	関係機関との連携・防犯パトロールの推進	担当課	交通防犯対策課				
事業内容	警察署や防犯協会、防犯指導員部会などの関係団体との連携や、防犯パトロールを実施して、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めます。						
計画目標	青色回転灯 20台						
H22取組結果	警察署や防犯協会、防犯指導員部会などの関係団体との連携や、防犯パトロールを実施して、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めます。 青色回転等 18台	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	警察署や防犯協会、防犯指導員部会などの関係団体との連携や、防犯パトロールを実施して、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めます。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23予算	0	0	0	0	0

180	「あなたを守る家」運動への協力	担当課	社会教育課				
事業内容	市民が連帯して子どもを犯罪から守るため、緊急な場合などに子どもを保護する運動（市PTA連絡協議会）に市として協力します。						
計画目標	継続支援						
H22取組結果	・市PTA連絡協議会事業費補助費として218千円を交付した。 ・市民活動災害補償制度の対象事業として支援した。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	市民が連帯して子どもを犯罪から守るため、緊急な場合などに子どもを保護する運動（市PTA連絡協議会）に市として協力します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	218	0	0	0	218
		H23予算	218	0	0	0	218

181	防犯指導の実施	担当課	交通防犯対策課				
事業内容	地元等の依頼に基づく市政出前ミーティング等を通じて、防犯指導を行うなど、防犯活動を推進します。						
計画目標	3回						
H22取組結果	地元等の依頼に基づく市政出前ミーティング等を通じて、防犯指導を行うなど、防犯活動を推進します。 1回実施	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H23事業内容	3回	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23予算	0	0	0	0	0

182	交通安全教育の推進	担当課	交通防犯対策課					
事業内容	世代や対象に応じた交通安全意識の啓発や交通安全指導等の交通安全教育を推進します。							
計画目標	実施回数 36回/年							
H22取組結果	世代や対象に応じた交通安全意識の啓発や交通安全指導等の交通安全教育を推進します。 実施回数 40回/年	事業評価	B・Cの理由					
H23事業内容	実施回数 36回/年	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23予算	0	0	0		0	0

183	通学路の安全対策	担当課	学校教育課					
事業内容	庁内関係課で組織する「通学路等整備促進検討会」での検討を進め、関係機関等と連携し、交通指導員や防犯指導員を通学路に配置したり、防犯灯を設置するなどして、通学路の安全を確保します。							
計画目標	小中学校の通学路の安全点検を継続実施							
H22取組結果	各小中学校に通学路の安全点検を依頼し、提出された改善必要箇所について、「通学路等整備促進検討会」で協議して改善を進めるなど、子どもたちの通学路の安全確保に努めました。	事業評価	B・Cの理由					
H23事業内容	通学路の安全点検を実施するなど、危険箇所の改善を進め、子どもたちの通学路の安全確保に努めていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	3,046	0	0		0	3,046
		H23予算	3,277	0	0		0	3,277

184	通学路の安全対策	担当課	道路整備課					
事業内容	歩道や歩車共存道路等の整備を推進し、通学路の安全を確保します。							
計画目標	幹線市道の歩道整備延長 L = 1, 140m 歩車共存道路による通学路の整備延長 L = 500m							
H22 取組 結果	(執行実績) ・市道1号線歩道整備事業 ・市道56号線歩道整備事業 ・市道59号線歩道整備事業 ・市道776号線歩道整備事業 ・市道65号線歩車共存道路整備事業 ・市道72号線交差点改良事業 ・市道81号線歩道整備事業 ・市道3号線歩道整備事業	事業評価	B・Cの理由 歩道設置に伴い、一部用地買収が必要となる。このため、関係地権者との交渉に時間を要し、繰越しを行っているため。					
H23 事業 内容	(執行計画) ・市道1号線歩道整備事業 ・市道56号線歩道整備事業 ・市道59号線歩道整備事業 ・市道776号線歩道整備事業 ・市道3号線歩道改良事業 ・市道2611号線歩道整備事業 ・市道4号線交差点改良事業 ・市道3号線横断歩道移設事業 ・市道437号線交差点改良事業 ・市道235号線歩車共存道路整備事業	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	113,621	43,509	0	28,000	42,112	○
		H23予算	177,795	90,200	0	68,100	19,495	○

185	通学路の安全対策	担当課	交通防犯対策課					
事業内容	庁内関係課で組織する「通学路等整備促進検討会」での検討を進め、関係機関等と連携し、交通指導員や防犯指導員を通学路に配置したり、防犯灯を設置するなどして、通学路の安全を確保します。							
計画目標	小中学校の通学路の安全点検を継続して実施							
H22 取組 結果	庁内関係課で組織する「通学路等整備促進検討会」での検討を進め、関係機関等と連携し、交通指導員や防犯指導員を通学路に配置したり、防犯灯を設置するなどして、通学路の安全を確保しました。	事業評価	B・Cの理由					
H23 事業 内容	小中学校の通学路の安全点検を継続して実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23予算	0	0	0	0	0	

186	防犯灯の整備	担当課	交通防犯対策課					
事業内容	耐用年数を経過した箇所の器具交換、維持管理を進めるとともに、補完的な設置を進めます。							
計画目標	7,000本 今後の新設及び器具交換は、照度アップした防犯灯を設置							
H22 取組 結果	耐用年数を経過した箇所の器具交換、維持管理を進めるとともに、補完的な設置を進めました。 7,000本	事業評価	B・Cの理由					
H23 事業 内容	7,100本 今後の新設及び器具交換は、照度アップした防犯灯を設置	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	10,465	2,385	0	0	8,080	○
		H23予算	12,940	6,615	0	0	6,325	○